

令和 3 年度 第 1 回 茂原市学校再編審議会 次第

日時 令和 3 年 6 月 18 日 (金) 15 時～

場所 茂原市役所 市民室

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 委員の紹介【資料 1】
- 4 会長、副会長の互選について
- 5 報告
 - (1) 児童生徒数の推計について【資料 2】
 - (2) 住民意見交換会について【資料 3】
- 6 議題
 - (1) 答申案の検討について
 - ① 答申案の内容について【資料 4-1】
 - ② 主旨について【資料 4-2】
 - ③ 統合時期等について【資料 4-3】
 - ④ 附帯意見等について【資料 4-4】
- 7 その他
- 8 閉会

学校再編審議会委員名簿

令和3年5月1日現在

番号	氏名	所属団体	区分
1	足立 俊夫	元教育委員会委員	学識経験者
2	中山 清志	元社会教育委員 元教員	学識経験者
3	齋藤 樹	茂原市自治会長連合会	自治会関係者
4	永山 良吉	茂原市自治会長連合会	自治会関係者
5	三戸 康正	茂原市自治会長連合会	自治会関係者
6	壁 明彦	茂原市PTA連合会	教育関係者
7	齋田 まゆみ	茂原市青少年相談員連絡協議会	教育関係者
8	中瀬古 正彦	茂原市PTA連合会	教育関係者
9	中村 和嗣	千葉県教職員組合長生支部	教育関係者
10	村澤 昭憲	茂原市小中学校長会	教育関係者
11	平井 きよみ	民生委員児童委員協議会	その他教育委員会が必要と認めるもの
12	山崎 孝史	茂原青年会議所	その他教育委員会が必要と認めるもの

委嘱期間：令和3年5月1日～令和5年4月30日

5 報告（1）児童生徒数の推計について

①学級数の適正規模

「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引（H27年1月文部科学省）」に準じて、茂原市教育委員会会議で適正規模を決定。

○小学校

12学級以上18学級以下

○中学校

9学級以上18学級以下

②学校規模ごとの基本的な方向性 ※茂原市学校再編基本計画より抜粋

○小学校

全体の学級数	基本的な方向性
1～5学級	速やかに統廃合
6学級	今後児童数の増加が見込めなければ、速やかに統廃合
7～8学級	今後児童数が減少し単学級となる見込であれば統廃合
9～11学級	統廃合や学区の見直し等、適正規模に近づける方策を検討
12～18学級	【適正規模】

○中学校

全体の学級数	基本的な方向性
1～3学級	速やかに統廃合
4～8学級	今後生徒数が減少する見込であれば、統廃合や学区の見直し等を実施
9～18学級	【適正規模】

③令和3年5月1日現在の児童生徒数及び学級数について

○小学校

校名	児童数	学級数
東郷小	466	17
豊田小	305	12
茂原小	285	12
西小	198	8
五郷小	243	10
鶴枝小	149	6
萩原小	554	18
中の島小	316	12
本納小	160	6
新治小	30	5
豊岡小	171	7
東部小	576	20
二宮小	229	9
計	3,682	142

○中学校

校名	生徒数	学級数
東中	356	11
富士見中	389	12
茂原中	397	12
南中	470	14
本納中	235	8
早野中	166	6
計	2,013	63

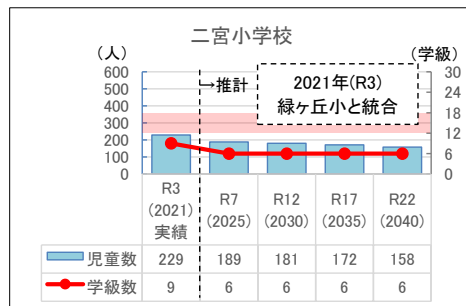
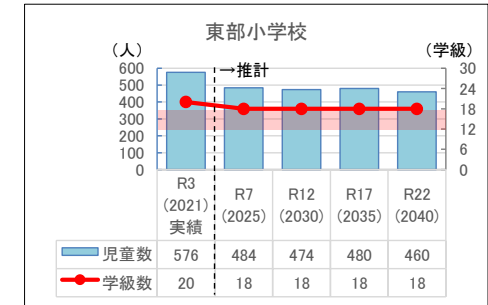
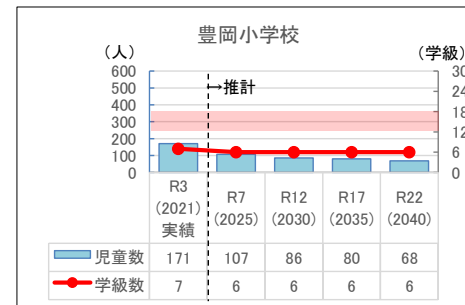
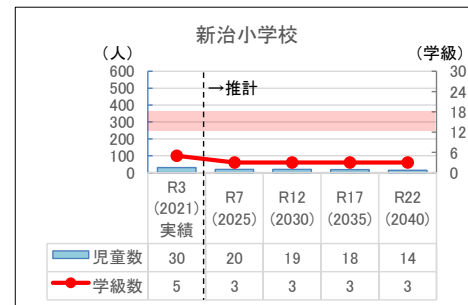
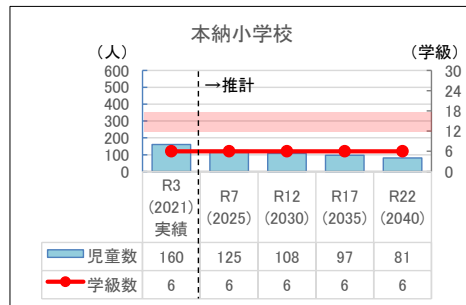
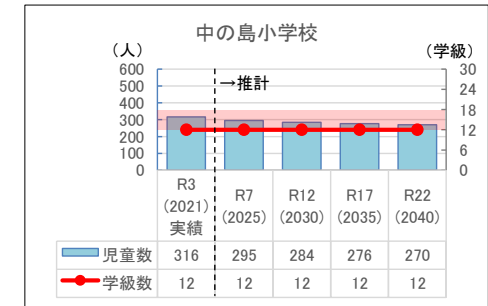
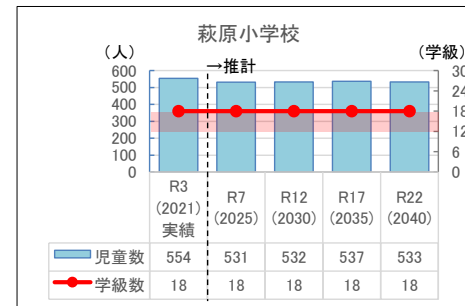
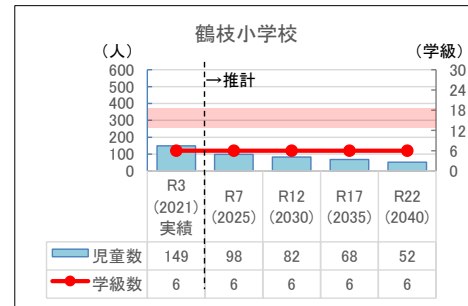
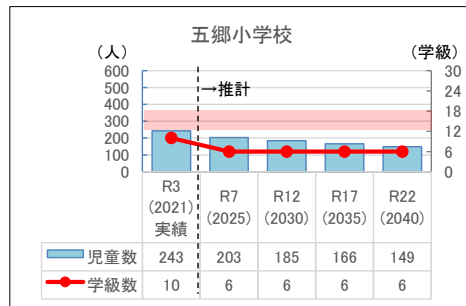
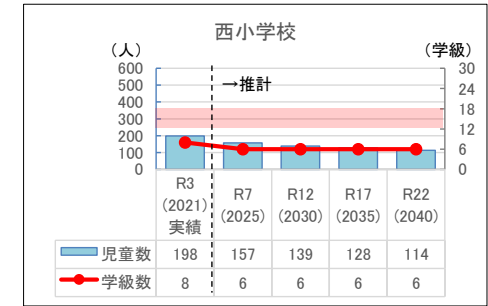
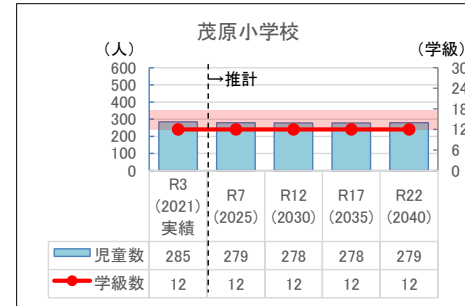
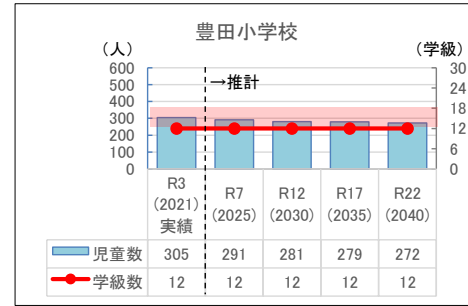
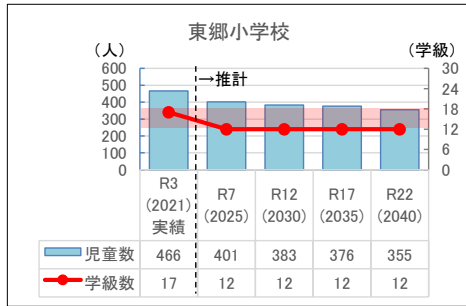
※ 〇の学校は、適正規模でない学校。

※二宮小はR3.4.1に統合済。

※学級数に特別支援学級は含めない。

④学校ごとの児童生徒数及び学級数の推移・推計 ※縦棒は児童生徒数（左軸）、折れ線は普通学級の学級数（右軸）

○小学校



【推計方法について】

- 全体の児童生徒数については、「茂原市人口ビジョン」（令和3年3月改訂）の基礎数値をベースに計算。
- 学校ごとの児童生徒数については、令和3年4月1日現在の住民基本台帳をベースにコーホート変化率法(*1)により計算。変化率については、H28～R3までの5年間の変化率を用いている。
- 学級数については、学級編制の標準の引下げ(*2)に伴い、小学校は全年齢で1学級35人で計算。※中学校は変更なし。

*1 コーホート変化率法とは、各コーホート(同じ期間に生まれた集団)について、過去における実績人口の動勢から「変化率」を求め、それに基づき将来人口を推計する方法。
 *2 「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」の一部が改正(R3.4.1施行)。R3年度から段階的に適用しR7年度で全年齢が1学級35人。

[参考] 学級数の算定式について ※()の端数切り上げ

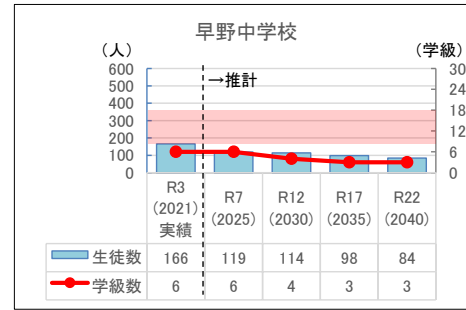
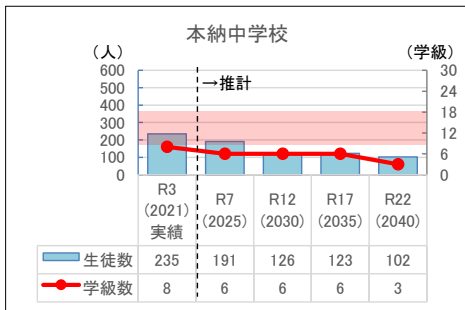
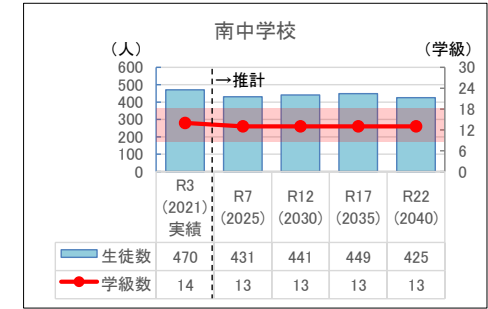
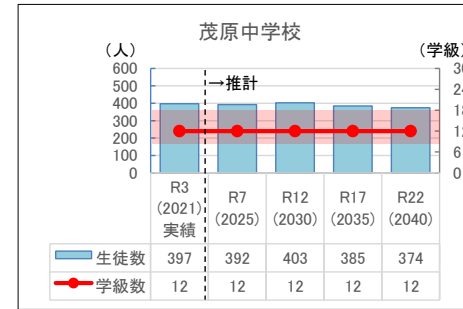
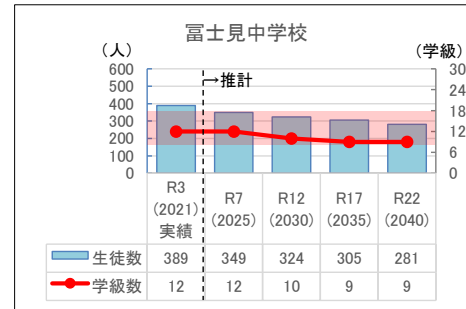
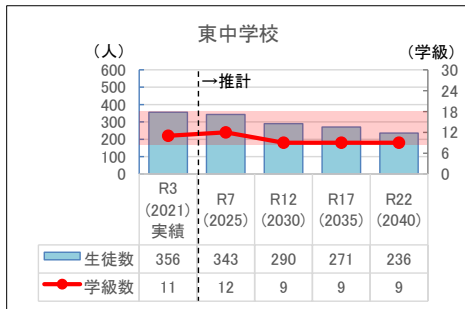
《小学校》 学級数 = (児童数 ÷ 6学年 ÷ 35人) × 6学級 ※40人以下の場合は3学級[全て複式学級]、48人以下の場合は4学級[2学級が複式学級]。

《中学校》 学級数 = (生徒数 ÷ 3学年 ÷ 35人) × 1学級 + (生徒数 ÷ 3学年 ÷ 38人) × 2学級

<学級数の表示> 小学校：「6」…5～6学級、「12」…7～12学級、「18」…13～18学級

中学校：「6」…5～6学級、「9」…8～9学級、「12」…11～12学級、「15」…14～15学級、「18」…17～18学級 他は表示のとおり。

○中学校



⑤推計に基づく学校規模ごとの基本的な方向性

2025 (R7) は基本計画の計画期間最終年度

小学校	2021 (R3) 実績		2025 (R7) 推計		基本計画による考え方 (学校規模ごとの基本的な方向性)
	児童数	学級数	児童数	学級数	
東郷小	466	17	401	12	
豊田小	305	12	291	12	
茂原小	285	12	279	12	
* 西小	198	8	157	6	増加が見込めなければ速やかに統廃合
五郷小	243	10	203	6	増加が見込めなければ速やかに統廃合
* 鶴枝小	149	6	98	6	増加が見込めなければ速やかに統廃合
萩原小	554	18	531	18	
中の島小	316	12	295	12	
* 本納小	160	6	125	6	増加が見込めなければ速やかに統廃合
* 新治小	30	5	20	3	速やかに統廃合
* 豊岡小	171	7	107	6	増加が見込めなければ速やかに統廃合
東部小	576	20	484	18	
二宮小	229	9	189	6	緑ヶ丘小と統合(令和3年4月)
合 計	3,682	142	3,182	123	

中学校	2021 (R3)		2025 (R7) 推計		基本計画による考え方 (学校規模ごとの基本的な方向性)
	生徒数	学級数	生徒数	学級数	
東中	356	11	343	12	
富士見中	389	12	349	12	
茂原中	397	12	392	12	
南中	470	14	431	13	
本納中	235	8	191	6	統廃合せず存続 [第一次実施計画で決定]
* 早野中	166	6	119	6	減少する見込みなら統廃合等
合 計	2,013	63	1,826	61	

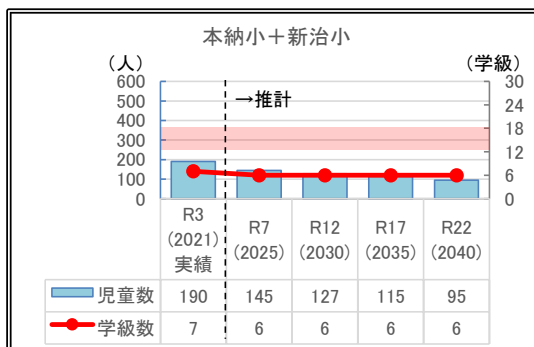
*の小中学校については、学校再編第一次実施計画において統廃合等について検討となっている学校です。

※端数処理の関係で合計が合わないことがあります。

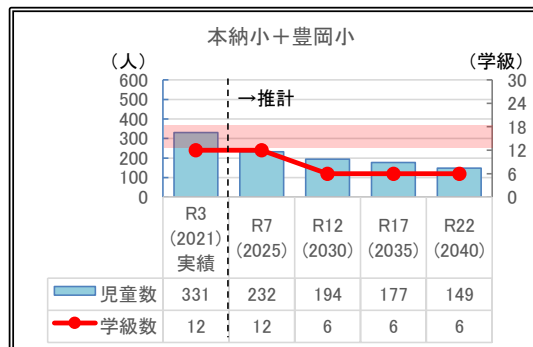
⑥具体的な学校再編案に基づく児童生徒数の推計

※「具体的な学校再編案」は審議会において審議された内容をまとめたものです。
 ※下記のグラフの縦棒は児童生徒数(左軸)、折れ線は普通学級の学級数(右軸)

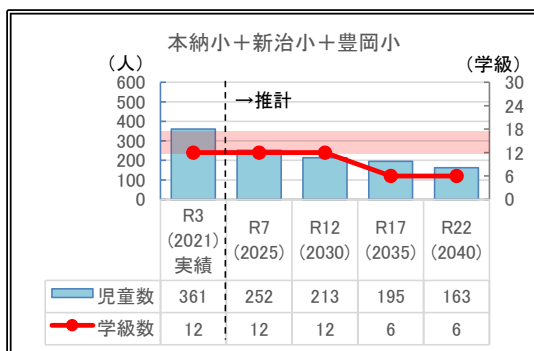
1) 本納小学校と新治小学校の統合について



2) 本納小学校と豊岡小学校の統合について



3) 本納小学校と新治小学校と豊岡小学校の統合について



■ 1)～3)と4)の推計方法の違いについて

- ・ 1)～3)はコーホート変化率法に基づく推計値[P2参照]であり、4)は住民基本台帳に基づく見込みであるため、それぞれ推計方法が異なることから、児童数と学級数に差異が生じている。

4) 本納ニュータウンを見込んだ場合の児童生徒数について

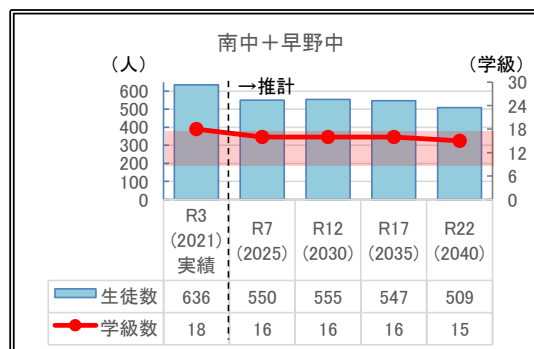
※住民基本台帳(R3. 4. 1現在)を基に試算

	R 5 (2023)	R 6 (2024)	R 7 (2025)	R 8 (2026)	R 9 (2027)
本納小学校	146	132	118	106	97
新治小学校	25	24	21	22	18
豊岡小学校	-	-	-	97	91
*本納ニュータウン	24	33	40	45	49
小学校計/学級数	195/8	189/8	179/8	270/11	255/11
本納中学校	202	187	189	197	173
*本納ニュータウン	16	23	29	34	38
中学校計/学級数	218/7	210/7	218/8	231/9	211/7
学級数合計	15	15	16	20	18

*「(仮称)本納ニュータウン宅地開発事業」を「本納ニュータウン」と表記

*本納ニュータウンの推計値は、事業者のプラン(聞き取り)により試算 [年最大30戸建築販売]

5) 南中学校と早野中学校の統合について



5 報告（2）住民意見交換会について

①本納地区住民意見交換会

○日 時：5月9日(日)10時～、18日(火)19時～

○場 所：本納小学校体育館

○参加者：36名（21名[5/9(日)]+15名[5/18(火)])

※当日の発言者の意見や提出のあった意見の概要

発言・提出意見の要旨	回答
（統合関連について）	
統合にあたり小学校と中学校のPTAをどう考えていくのが良いか。	小学校と中学校のPTAは、今後両校で話し合っ て進めていく。
仮に令和5年に新治小、令和8年に豊岡小が統合したときに教室数は足りるのか。	3校統合した際に必要な教室数は、通常 の学級で20教室と見込んでおり、本納小・中 学校は24教室あるため、足りると想定し ている。
一貫校になると具体的にどうなるのか。	学習指導では乗り入れ指導により、中学 の先生が小学校に行き授業に参加すること で、より専門的な授業が可能となる。中学 生にとっては、小学生と一緒に行事を進め る中で、手本となるような心も芽生える。小 学生の立場では中学生と交流することで、感 謝の気持ちを持つことにつながる。本納地 区4校で目指す子供像を共有して取り組ん でいく。
統合により小学校が1学年2クラスにな ると新校舎に全部入るのか。	小学校（新校舎）の教室で不足が生じた ときは、中学校（既存校舎）の教室を使っ ていくことになる。
（校舎関連について）	
本納小の建設現場からガスが出たとの ことだが、どのような対応をとるのか。	湧出ガスの濃度は高くなかったため、小 学校（新校舎）は自然排気（通気孔等を設 置）できるよう施工した。更にガス対策 としてガス警報器を小学校（新校舎）に 設置し、警報が鳴ったら窓をあける対策 で考えている。本納中（既存校舎）は令 和3年度の予算でガス警報器を設置する。 常時ガスを検知することから、通年でガ スを察知できる。
水害についてどのように考えているの か。	過去の大雨災害時に、校舎への浸水は 確認されていない。新校舎の1階部分の 床の高さは中学校（既存校舎）の高さと 一緒である。東側道路と床面までの高低 差は1m位あるため、基本的に浸水する ことはない想定している。
本納小が移転する前に本納中のグラウ	グラウンドやフェンスの整備については、 予算の確保

ンドやフェンスの整備をしてほしい。	等に努めて教育環境の整備に尽力する。
本納小の校庭や体育館の有効活用はどのように考えているのか。	土砂災害警戒区域に指定されていることから、天候や安全性に十分配慮したなかで、できるだけ住民の方に利用いただけるよう検討していく。
(通学関連について)	
統合にあたり中学校周辺の通りは混雑するのではないか。	学校敷地内の北側に整備する駐車場以外に、橘樹神社やほのおか館の駐車場にもご協力いただき、朝の通学時間帯に使用できるよう進めている。混雑が予想されるため、小中で登校の時間帯をずらすなど、対応を検討していくことになる。
中学校周辺の道路幅員が狭い状況であるため道路整備をしてほしい。	北側の通りの本宿下踏切から橘樹神社にかけての道路の一部に歩道がないため、歩道整備に取り組んでいく。学校前の道路には、グリーンベルトを設置して安全対策に取り組んでいく。
本納小移転後はどのような通学ルートになるのか。	学校は、子供たちの家からどのルートを通ると一番安全に登校できるかを検討している。保護者からも子供たちの登校に際して、学校と情報を共有しながら進めてほしい。
(防災関連について)	
通学路や中学校周辺が浸水することがあったが何か対策はあるのか。	令和2年度から「茂原市小中学校の対応について」の統一基準を設けた。大雨警報等が出た場合、朝6時の段階で一斉に臨時休業とする。前日(夜8時)から警報が出ている場合は自宅待機とする。河川整備事業が進まないと抜本的な対策にはならないため、赤目川の改修事業、それに流れ込む乗川の整備に取り組んでいる。引き続き、県に対して事業推進を図るよう要望する。
(その他)	
学校の周辺での不審者や盗撮等の情報把握について。	学校からの情報提供が多い。随時、青少年指導センターや市生活課と情報共有している。市内の学校や地域には一斉に情報伝達をしている。
本納小移転後も引き続き旧本納小のグラウンドや体育館が使用できるよう検討してほしい。	—
避難経路の整備もお願いしたい。	—
本納中が避難場所であることに納得がいかない。	—
ガス警報器が鳴った際の対応・訓練について小中学生に指導してほしい。	—

②新治地区住民意見交換会

- 日 時：5月11日(火)19時～、15日(土)10時～
- 場 所：新治小学校体育館
- 参加者：90名（40名[5/11日(火)]+50名[5/15日(土)]）

※当日の発言者の意見や提出のあった意見の概要

発言・提出意見の要旨	回答
(統合関連について)	
統合するにあたり、新治に行くという選択肢はなかったのか。	将来的に3校が統合するという方向性がある。通学等の児童の負担等を考えたとき、第一次実施計画では本納中付近を中心に場所を検討した。
中学生のアンケートも、反対者数が賛成の2倍以上ということで、結果を無視して工事を進めるといったことが理解できない。	資料では、賛成的な考えの生徒が46名、反対的な考えの生徒が63名、両方の意見を書いた子は16名である。例えば小学生が騒いで事業に集中できなくなりそうという不安を書いたのは25あり、一つの意見にたくさん的人数が入っている。「テストに集中できなくなりそう」とか「工事の音がうるさくて勉強集中できないのではないか」という意見が13名いた。極力、授業に差し障りがないよう工事業者に依頼した。子供たちの意見に耳を傾けながら進めている。子供の立場からいろいろな意見を出しているため、今後も検討して進めたい。
(仮称)本納ニュータウンについて、市はどのようにみているのか。	事業者の情報を基に市で児童生徒数の推計をしているが、流動的であると考えている。業者からの情報によると、現在の事業計画では261戸であり、児童数の試算は、1戸あたり0.45人が来るといった計算である。すべての戸数が完売となった場合には、児童数は延べ117人という見込みとなる。
豊岡小の統合や(仮称)本納ニュータウンを想定したときに教室は足りるのか。	児童数は令和8年度で最大270人と見込んでおり、教室数は足りる想定である。
乗り入れ授業はどんなねらいがあるのか。何年生ぐらいから始まるのか。	中学校の先生が小学生を教えることで、専門的な知識から子供たちを教えることが可能となる。小学校5年生、6年生を対象に計画をしている。
(校舎関連について)	
なぜ水害も多く、電車の騒音もあるなかで本納中の隅へ建てたのか。	候補地として、本納中敷地以外に本納駅周辺、本納のバイパス付近、本納駅東地区の地区計画区域内等を検討した。土砂災害の警戒区域に本納小が指定され、PTAからも移転を求める要望書の提出があった。市の計画にも合致していたため、既存校舎との連携も考え

	<p>て決定した。騒音対策として窓には二重サッシを設け、また線路側の壁面にはできるだけ窓を設置しないなどの対策を講じている。水害対策については新校舎の高さは、本納中（既存校舎）と同じ高さ（床）にしている。なお、本納中（既存校舎）の校舎は、過去に浸水したことはない。</p>
<p>ガスの出る場所について、「防爆型」の機器は検討したのか。</p>	<p>調査会社からは、湧出ガスの濃度は高くないため、自然排気が良いとのことであった。停電時でも自然排気が常時できるような対策を講じる。また、ガスは空気より軽いため教室に溜まっているか検査するために、ガス警報器は天井付近に設置する。ガス警報器は全教室に設置する。ガスが上に抜けるよう通気孔を設け自然排気するよう安全対策を講じている。</p>
<p>（特認校関連について）</p>	
<p>小規模校や複式学級は駄目なのか。</p>	<p>一定の集団規模がある学習環境が、子供たちにとって望ましいものであるという考えの基に計画している。基本計画では複式学級が存在する学校は、速やかに統廃合するという方向性である。</p>
<p>特認校制度は有効ではなのか。検討はしたのか。</p>	<p>子供たちの人数はピーク時から比べると、半分以下に減少しており、新治小やその周辺の学校で児童数が増えている学校はほとんどない。そうした現状で特認校を採用すると、小規模の学校が増えてしまうため、児童が減少している茂原市の現状には小規模特認校制度は適さないと考える。特定の学校について小規模特認校を採用するのではなく、市全体の小規模校対策を実施していく方針である。</p>
<p>新治小存続の為、小規模特認校を切望する。</p>	<p>新治小の児童数は急激に減少しており、現在 30 人という状況にある。35 年前は約 12, 000 人弱だった市内の児童生徒が、現在、約 6, 000 人弱で半分に減り、今後も減少傾向にある。市が定めた適正規模は、小学校は 12 クラス以上であるため、適正規模を満たすには、かなりの人数を他の学校から集めることになる。市全体の子供の数が減少していく中で、保護者が希望しているある程度の集団規模で学ばせるには統廃合をしないと解決できないと考える。</p>
<p>（跡地関連について）</p>	
<p>跡地利用について市はどのような方法で調査するのか。</p>	<p>各部署に照会をかけ、活用できる事業があるか調査する。それがなければ、民間に需要調査していく。新治小は避難所に指定されている。その機能は残した上で、跡地利用を考えることが原則的な考え方になる。選定</p>

	<p>する過程において、民間からの提案、また自治会からの要望等があればいただきたい。地域の方が受け入れられる施設で、また活性化できるような有益な施設になるように検討を進めていきたい。</p>
<p>(通学関連について)</p>	
<p>バス通学のメリットやデメリットについてどう捉えているのか。</p>	<p>運行費用については、二宮小学校では大型バス1台で年間約700万円を予算計上している（登校時1便、下校時3便）。メリットは、天候に関わらず安全に子供たちを学校まで送り届けることができる。デメリットは、体力の低下が考えられるが、学校教育全体で体力づくりの活動を充実させていく。</p>
<p>(その他)</p>	
<p>新治地区の環境の良いところに建てるのであれば理解できる。</p>	—
<p>もっと安全な場所に校舎を建て、小中一貫校を作っていただきたい。</p>	—
<p>話し合いを続けて早期に統合を進めていただきたい。統合に向けて、どうしたら子供たちがより安全に楽しく学校生活を送れるかを考えていただきたい。</p>	—
<p>バスで登下校させていただけると保護者にとっては安心である。</p>	—
<p>もう少し話し合いの機会を設けるべきである。</p>	—
<p>統合場所がとても心配である。</p>	—
<p>校名募集、新校歌などを検討してほしい。新治小の特色が消えるようなことは避けてほしい。</p>	—
<p>現在進行で子育てをしている世代の意見を尊重してほしい。</p>	—
<p>本納中の校舎は築年数が60年近く経っている。耐震はしているだろうが、次の建て替えの時に、安全な場所に小中一貫校を作って欲しい。</p>	—
<p>豊岡小を使用する3校（本納小・新治小・豊岡小）統合を希望する。</p>	—
<p>子供のいる母親の切実で勇気ある発言。これが新治地区の本当の意見と思って、統合を早く進めてほしい。</p>	—

③豊岡地区住民意見交換会

○日 時：5月15日(土)14時～、19日(水)19時～

○場 所：豊岡小学校体育館

○参加者：50名（35名[5/15(土)]+15名[5/19(水)]）

※当日の発言者の意見や提出のあった意見の概要

発言・提出意見の要旨	回答
(統合関連について)	
地区住民に対する説明も不十分で、住民は納得していない。理解を深めるため説明会を頻繁にして、地区住民が納得できるよう進めてほしい。	第一次実施計画で、本納地区は3小学校を統合し、特色ある教育を進める方向である。学校再編審議会から、豊岡小の統合は、令和8年4月1日までに統合という案が示されたので、今回この案について、皆様のお話を伺うということで、この会を開催している。
水害のある本納中の場所は最適なのか。	過去に校舎に浸水したことはない。大雨警報等が出た場合には、子供たちの登下校を制限して対応する。
(仮称)本納ニュータウンを見込んだR8年度の児童数は270人で11学級である。本納中の空き教室を活用して、小学生(高学年)が行くとしても可能か。	本納小中学校の空き教室は24あるため足りると想定している。子供たち(小学生)が中学校(既存校舎)を使用することも検証し、対応できると判断している。
(仮称)本納ニュータウンの児童数が予想以上に多かった場合は、豊岡小の統合は延期になるのか。	受入可能数を超える場合は考えなければならない。
特色ある教育とはどういうことか。	小中一貫教育である。小学校6年間と中学校3年間の学習のつながりを今まで以上に考えて指導していく。目指す子供像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し系統的な教育を行う。行事についても可能なものは一緒に行う。また、中学校の先生が小学校へ行き、専門的な立場から子供たちに指導する乗り入れ授業を計画している。
グラウンドの使い方や遊具整備はどのようになっているのか。	本納中のプールを撤去し、遊具を設置する。民間のスポーツクラブで水泳学習を行う。体育の授業では、中学校のグラウンド、体育館、柔剣道場を割り振って使う。本納小のグラウンドは授業では使わない。
中学生たちが本納小を迎える気持ちができてきているのか。中学校でも説明したのか。	本納中の生徒へは先生から話はしている。また、アンケートもとっている。生徒たちの声を聞いて対応できることについては対応している。
(校舎関連について)	
新しい本納小学校の場所は、水害やガス	ガスについては、ガス警報器を設置する。また、壁面

の心配がある。	に通気孔を設けるなどして、自然に換気されるようになる。水害については、大雨警報等が出た段階で臨時休業にするなど、大雨の中を子供たちが登下校することはないようにする。乗川の工事について、南白亀川水系の赤目川と一緒に進捗を図る。
新しい本納小に非常階段は設置しないのか。救助袋を使用する場合は、どのように避難するのか。	非常階段は設置しない。避難経路は内部階段の他に、2階と3階に斜降式の救助袋を設置する。救助袋では、南側のスペースに降りて、道路に出て避難する計画である。平常時から訓練はしていく。
(その他)	
豊岡小学校は自然豊かで、教育環境は素晴らしい。	—
安全な豊岡から、不安材料がある本納へなぜ行かなければならないのか。災害のないところで教育を受けられるようにしてもらいたい。	—
電車の音、水害の心配がある本納へ行くことには反対である。人数が少なくともいい教育はできる。	—
豊岡小で本納小と新治小を受け入れるので来てほしい。	—
豊岡地区が過疎化していくのではないかと心配である。	—

④五郷地区住民意見交換会

○日 時：5月9日(日)14時～、12日(水)19時～

○場 所：五郷小学校体育館

○参加者：26名(16名[5/9(日)]+10名[5/12(水)])

※当日の発言者の意見や提出のあった意見の概要

発言・提出意見の要旨	回答
(統合関連について)	
統合に向けて学校選択制は導入するのか。	現在のところ学校選択制は検討していない。
具体的な学校再編案の統合時期は早まる可能性はあるのか。	学校再編審議会が示した再編案であり、まだ決定したものではない。審議会での審議結果によっては早まる可能性もある。
(通学関連について)	
通学における安全性の確保について具体的に聞きたい。	通学上、危険性が高いと想定される場所は随時把握している。一部、センターラインのない狭い道路があるため、歩道の整備を検討している。
中学生はスクールバスではなく、自転車通学が基本なのか。	中学生は自転車通学が基本である。
(防災関連について)	
土砂災害警戒区域に指定された南中の崖への対策は何かあるのか。	ハード面での対策は必要と考えている。どのような対策が適当であるか、庁内協議や現地調査などを行っていく。土砂災害警戒情報等が発表された際には、速やかに他の教室等に移動する。
(校舎関連について)	
南中には早野中の生徒が入れるだけの教室はあるのか。	早野中が統合した場合でも南中の教室数は足りている。
(その他)	
通学路の安全確保は、統合までに最優先で取り組んでほしい。	—
教える側の立場から学校再編を考えているように思う。学校再編では地域の実情、地域との関係を重視すべきである。	—
子どもたちのため統合時期を早めてほしい。	—
小規模校では切磋琢磨しながら成長したり、やりたい部活動ができなかったりする。	—
授業の充実・生徒指導の充実を図ってほ	—

しい。	
中学校に音楽や美術の先生が常勤できない現状は子供たちにとってマイナスである。	—
多種の部活動があることや他校の新しい友達と一緒にすることは、子どもたちの成長にとっては良いことである。	—
統合の移行期間を設けて、入学時に南中学校か早野中学校か選択できると、子供たちも安心できると思う。	—
一小一中、しかも小規模では社会的資質向上に不足が多いと思う。	—

6 議題（1）答申案の検討について ①答申案の内容について

（素案）

令和〇〇年〇〇月〇〇日

茂原市教育委員会教育長 内田 達也 様

茂原市学校再編審議会
会長 〇〇 〇〇茂原市立小中学校の再編に関する具体的な方策（第二次実施計画に関すること）
について（答申）令和2年2月4日付け茂教総第157号で諮問のあった標記の件について、下記のとおり答
申いたします。

記

1. 主旨

〇〇…

2. 具体的な学校再編案について

優先的に実施すべき学校再編については、以下のとおりです。

(1) 本納小学校と新治小学校の統合

統合時期	令和〇年〇月〇日	理由 〇〇…
使用校舎	〇〇学校	
通学区域	〇〇区域	

《附帯意見等》

・〇〇…

(2) 本納小学校と豊岡小学校の統合

統合時期	令和〇年〇月〇日	理由 〇〇…
使用校舎	〇〇学校	
通学区域	〇〇区域	

《附帯意見等》

・〇〇…

(3) 南中学校と早野中学校の統合

統合時期	令和〇年〇月〇日	理由 〇〇…
使用校舎	〇〇学校	
通学区域	〇〇区域	

《附帯意見等》

・〇〇…

3. その他

(1) 西小学校、五郷小学校、鶴枝小学校について

〇〇…

6 議題（1）答申案の検討について ②主旨について

○これまで審議した経緯等を踏まえ主旨についての答申案とします。なお、参考に素案を記載します。

《参考》素案（事務局案）

素案

1. 主旨

全国的に進行している少子化により、本市でも児童生徒数の減少や学校の小規模化が進む中、子どもたちの教育環境を最優先に考えて審議した結果として、小中学校の具体的な再編方法について答申するものです。

なお、審議にあたっては、先般教育委員会が定めた「茂原市立小中学校の適正規模」、「茂原市学校再編基本計画」、「茂原市学校再編第一次実施計画」を踏まえ、学校視察及び保護者や住民との意見交換会などを実施し、様々な見地から慎重に討議を行い、この答申に至りました。

■答申案

1. 主旨

6 議題（１）答申案の検討について ③統合時期等について

○これまで審議した内容を再度審議し、統合時期等についての答申案とします。

1) 本納小学校と新治小学校の統合

統合時期	令和5年(2023年)4月1日
使用校舎	本納小学校（本納中学校敷地内）
通学区域	現行の両小学校区を合わせた区域



(修正案)

統合時期	
使用校舎	
通学区域	

理由

2) 本納小学校と豊岡小学校の統合

統合時期	令和8年(2026年)4月1日まで
使用校舎	本納小学校（本納中学校敷地内）
通学区域	現行の両小学校区を合わせた区域



(修正案)

統合時期	
使用校舎	
通学区域	

理由

3) 南中学校と早野中学校の統合

統合時期	令和8年(2026年)4月1日まで
使用校舎	南中学校
通学区域	現行の両中学校区を合わせた区域



(修正案)

統合時期	
使用校舎	
通学区域	

理由

4) その他

西小学校、五郷小学校、鶴枝小学校については、今後継続的に検討することとし、第二次実施計画では上記 1) ~ 3) を優先とする。



(修正案)

--

本納地区住民意見交換会 提出意見集計[5/9, 18 開催分]

○提出意見 13件 ※原則として原文のまま掲載

記入者		意見
30 歳代	本納	統合にはおおむね賛成です。ただ、あまり児童数が多すぎる学校をみると（大網小など）、児童の問題に目が行き届かなかつたり、児童一人一人と先生方とのコミュニケーション不足を感じる話を聞きます。その点が大きな不安です。現在、子どもが本納小に通っておりますが、子どもたちと先生方はとても良好な関係を築けていると思います。一人一人に目が行き届いていることが実感できています。
40 歳代	その他	緑ヶ丘、二宮の統合お疲れ様でした。本納、新治統合の件、住民説明ができず、統合を延ばしたことは良い判断だと思います。児童生徒、保護者はもちろんですが、地域の住民への配慮をし、時間をかけて丁寧に説明することは重要だと思います。本納の建物のかさ上げは説明にありましたが、校舎は地域住民の避難場所でもあります。避難経路の安全面も整えてもらいたいです。上記意見は他の小中学校でもいえますが。
40 歳代	本納	お休みの日にごくろうさまです。本納小の移転はとても楽しみにしています。新しい校舎は良いですね。新治小との統合も仕方がないとは思いますが、ただ、豊岡小との統合は期限を決めずに、長い目で人口の増減を見ても良いと思います。小学校が遠いと、保護者も子供も負担が大きいです。
40 歳代	本納	本納中学校が急に水害（洪水）での避難場所になったと聞きましたが、どうしても納得いきません。小学校を作るために、急に避難所になったと思うのですが、いかがでしょうか？納得いく理由を教えてください。小学校に通わせている親として心配です。忙しいところおそれ入りますが、宜しくお願いします。
40 歳代	本納	前回の意見交換会の保護者の意見が見れて良かった。新治との統合は反対ではないが、やはり本納ニュータウンができるにあたり、もう少し様子を見ても良いのかな？と思います。登下校時の学校の門ですが、今の中学の正門からの出入りだけでなく、駐車場の所からも入れるようにできないでしょうか？テニスコートの角も道が少し狭く、雨の日は車が多いため危険です。わざわざ中学校の周りをグルッと回ってから敷地に入る子供もいると思う。それもちょっとめんどろかな、と思います。
40 歳代	本納	新年度毎にクラス替えをし、子供達の交友関係や勉強、運動のライバルができる等、子供達の刺激になるので、私は統廃合には賛成です。
60 歳以上	本納	子供たちの安全を第一に考え、新しい取り組みのため、いろいろな課題も出てくると思われるが、一つ一つクリアしながら、よりよい方向に進めていただきたい。
40 歳代	本納	皆が良かったと思える本納小の移転にしてほしい。本納中のグラウンドは雨が降ると使えない状態になってしまう状況なので、本納小のように土を入れて整備してほしい。現状のままでは子供たちから不満の声が上がるのは間違いないと思う。本納小の活用も検討してほしい。校舎は使えないかもしれないが、校庭は十分使えると思う。今後の再編に不満が出ないよ

		う、ハード面、ソフト面とも予算をしっかりとつけて、対応してほしいと思います。
40 歳代	本納	昨年は本納小学校の移転にあたり、各新聞にマイナスの記事が掲載されていた。一方的な（片寄り）内容が多かったのが残念であった。市役所に記者クラブがあると思われるので、積極的に活用し、情報発信を進めていくべきと思っています。（当然、市長の理解を得られないといけません）
50 歳代	その他	学校再編は避けて通れないと思います。その上で「目指す子供像」が最も大切だと思います。今の日本人全般で足りないのは「志」と「論理性」これが足りないことで、コロナ禍など様々な偏見や差別を引き起こしていると思います。私の通った小学校は県外ですが、「はっきり目標を立てる。まっすぐな筋道を立てる。がんばって工夫する。」を合言葉としていました。
40 歳代	本納	小中一貫になるのがたのしみです。子供たちも統合して、ますます学校が好きになってもらいたいです。
40 歳代	本納	子供達が本納小のグラウンドを貸りてサッカーをやっていました。移転後も、本納小のグラウンドを使用出来る様に検討して下さいます。新治小も豊岡小も統合した際には、それぞれの小学校や体育館（豊岡小にいたってはまだまだ新しいと思います）、グラウンドなどどの様に活用される予定かも気になります。地域や子供達の為に活用出来る様に重ねてお願いします。
40 歳代	本納	意見交換会というより、決まったことの報告をされているだけで地域の方が数名いましたが、わからないと思います。昨年9月26日の説明会で話された事、保護者が不安に思っている事を地域の方に知らせるべきです。水害の問題は赤目川を改修しなければ根本的に解決しないはずで、本納中は浸水するのに避難所に指定されています。浸水したらどのように救援物資は取りに行くのでしょうか？法目や高田地区は避難しに行けません。災害が起こってから対応すれば良いとの考えしか感じられず、茂原市に不信感しか感じられません。小中一貫校、統合は反対しません。もっと安全面を考えて欲しいです。ガスの問題もガス警報器を付ければ大丈夫との事ですが、もともとガスが出る所に学校を建て、危険が懸念される所に決めたのであれば、毎学期なり、ガスの数値を測り保護者に知らせるべきです。天然ガスは空気より軽い為、警報器が鳴ったら窓をあける対応をするとの回答もありましたが、小学生、中学生に警報器が鳴った時の対応を教える訓練なども考えないといけないと思います。「学校に任せる」では困ります。今、コロナで保護者は学校に行きません。同じクラスの保護者との面識はほとんど本納小学校ではありません。コロナを良い事に保護者同士意見を出す事もなく、移転の話も市に都合良く進められ、子供の安全はどう守るのか、地域の防災もどう守るのか全くわかりません。①避難所として指定されているが、実際に水害になった時、どのように避難するか具体的に教えてください。②ガス警報器任せでなく、毎学期ガス数値を教えてください。③ガス警報器が鳴った時、児童生徒への対応の方法を教えてください。学校を通して回答をお願いします。5/28がしめ切りなので7月頃（夏休みに入る前）には回答をしてください。

新治地区住民意見交換会 提出意見集計 [5/11, 15 開催分]

○提出意見 47件 ※原則として原文のまま掲載

記入者		意見
30 歳代	新治	保護者として先行きが不安ではない。
60 歳以上	新治	跡地利用の流れの中で、市役所内で需要の調査を行うとなっているが、調査の方法について不明である。本納中校舎の耐震及び耐久年数の問題
30 歳代	新治	今回意見を言っていた方々と同じように感じます。教育委員会の方々はある程度もう決まっている内容について地元の方の意見を聞いて歩み寄る、変更するという意味は全く感じられませんでした。もう少し地元の方々の意見に対して丁寧にもう少し地元の方々の意見を大切にしていこうという姿勢を見せるべきだと思います。そこが変わらない限り、反対意見の方々の気持ちは変わらないと思います。コロナ禍の中でなかなか難しいとは思いますが、もう少し話し合いの場を機会をもつべきだと思います。少人数は少人数の良さがあると思うので、今の状態で良いと思います。急いで統合する必要性があまり伝わりません。
60 歳以上	新治	新治地区では意見交換会、説明会を3~4回目の開催と思いますが、地元民からずっと出ている統合反対の意見が考慮されず、その辺の説明も無く、いつのまにか統合が決定していたことは、非常に残念です。統合が決定事項であり、すでにどうにもならないのでしょうか。統合される場所はとても心配です。子供達のことをよく考えて、子供ファーストで決定したとは思えません。統合するなら、場所を変えてください。茂原市教育委員会の方針には失望しております。
30 歳代	新治	できるだけ早く統合を進めてください。ただし、二宮、緑ヶ丘小のように新生小学校として校名募集、新校歌などを検討する運用を開始してください。今のままでは、ただの吸収合併です。新治小の特色が消えることは避けて欲しい！また、本納中の校舎よりも豊岡小の校舎を利用した方が地域的にも納得すると感じる。小中一貫校のメリットをあまり見い出せない。乗り入れ授業は現状でも可能。中学校だけの教員免許を持つ教員もいるが、どのように人員配置するつもりか？小中一貫校を薦めるための説明が足りないと思う。
40 歳代	新治	もし本当に令和5年に統合するのであれば、新治小が本納小に行くのではなく、きちんと小学校名も新たに統合してもらいたい。人数が少ないから本納小に入れてしまえ感では、さすがに悲しい。中学校の所にグリーンベルトは良いが、車がすれ違えなくなる。橘樹神社とセブンイレブンの所から郵便局の方まで時間帯7-9まで一方通行にしないと危険な道になるので、いずれは新校舎を建てるので、早めに対応してほしい。
60 歳以上	新治	新治小統合後の跡地利用について、もっと具体的な説明をお願いしたい。新治地区住民に積極的に資するように、統合した場合、大沢から新治小まで2km、本納中までは5kmになり、2.5倍の距離になってしまい、児童の負担が非常に大です。具体的な対応策をお願いしたい。

	新治	小中一貫校にするメリットがわからない。
60 歳以上	新治	市民不在！ もっと話し合いをすべきである。茂原市に住んで恥ずかしい！
60 歳以上	新治	バス通学にした時の運行経費はどれくらいか。既存の校舎を存続させた場合との費用対効果はどうか？
60 歳以上	新治	本納中学校敷地内での統合は、絶対反対です。
60 歳以上	新治	小規模校が統廃合されることはやむを得ないが、新治ニュータウンでの児童生徒数が多いと思うので、新治小学校の統合 変更前の令和 7 年 小規模校のメリット賛成です。
60 歳以上	新治	再編となる時期が分からないうちに、7 年、4 年、5 年と変化する？やはり本納小より新治への方向が良かったのでは？ P T A 会長、印かんの件はどうしてもあやしいのでは？ 校長先生（教育委員会？）がだました？市長が箱物の建設をなぜか急いでるようですね？ ※ムリして議会を通した
60 歳以上	新治	子供達の為にも早く皆いっしょに通えるようになってほしいですね。
60 歳以上	新治	建設中の小学校は建設してはいけない場所に建設しています。子供たちの安全が一番です。
60 歳以上	新治	新小学校の場所は新しい場所を検討しなかったのか（本納中は水害、本納小は土砂崩れ）本納中の廻りの道路がせまい。歩道なし、路側帯狭い、通学に危険ではないか。
60 歳以上	新治	当初、新治小を本納小に統合するのにキケンと知っていたのに実施しようとした。全く行政に信頼がおけない。子供をキケンにさらすのになんてことだ！
60 歳以上	新治	毎回答弁がいつも同じような言葉の繰り返し。話にならない。本納中に移動して運動場、その他が小学生が入ったら、部活動はどうするつもり、また側川に学生が落ちる（川に蓋をしる）。ガス爆発、電車の騒音、大水でケガをする。通学が大変では？セブンイレブンの側、通学バス、ニュータウンの人口増加、豊岡小、本納小、新治小が一同には入れるか、はじめの説明と現在の話はまったく違う。おかしい！！
	本納	何度か説明会に出たが、地元の意見が聞いてもらえず、なんか決まったことを説明しているだけで、もっと地元の意見を反映してください。
30 歳代	新治	度重なる計画変更で、子ども達や保護者を振り回すのはもうやめていただきたい。早期の統合をお願いします。ずっと昔に子育てを終えた世代の方々の意見より、現在進行で子育てをしている世代の意見を尊重してほしい。P T A の仕事も 1 家庭で何役も兼務しなければならず、大変です。統合に反対されている方で、学校支援ボランティア等に毎年登録してお手伝いしてくださっている方は何割いらっしゃいますか？この段階になってまで限られた説明会の時間を長々と続く反対意見で空費するよりも、統合に向けてどう変わるのか等、前向きで具体的な話を聞かせていただきたいです。

60 歳以上	新治	小学校は本納中の敷地内に統合移転とあるが、これで小学生の教育は良いのか（運動場、体育館等の教育施設が不備）（例）長南町の小中一貫教育は素晴らしいです。教育環境すべて良いです。
60 歳以上	新治	本納小・中の水泳授業が 6/3~7/16 の間に 12 日間民間プールの茂原スポーツクラブで授業を行うと聞いた。これか今回だけか、今後も続くのか。運動場、プール等以後作る計画はあるのか？
60 歳以上		学校再編審議会のあり方がおかしい。小規模特認校を認めること。本納中敷地内の移転は、騒音問題、ガスの問題など、その他いろいろな問題が多すぎる。絶対反対です。市に提出された要望書偽造問題はあまりにもおそまつすぎる。
60 歳代	その他	子どもたちのことを考えて、それをいちばんに進めてほしい。
60 歳以上		小学生が問題なく通学できるように、スクールバスの運行内容について、くわしく教えていただきたい。⇒決まった内容を随時、茂原市ホームページに載せていただきたい。グラウンドが中学生と共有のようですが、小学生の遊び場が確保されているか（鉄棒、スベリ台、ジャングルジム等）
60 歳以上	新治	令和 7 年頃まで時間をかけて統合問題を検討すると発表されました。新治の皆さんは令和 7 年まで住宅開発の状況を見るとの理解でおります。
60 歳以上	新治	スクールバスの件をよろしくお願いします。子供たちの安全を第一に考えてほしいと思います。
50 歳代	新治	学校の校庭が狭すぎるので、もっと広い面積を確保すべき（今の 2 倍くらい）。低い場所に学校があるので、雨が大量に降っても水位が上がらないように対策をすべきである。自然排気がもできなくなった場合でも、ガス濃度が上昇したことを検知できるように、ガス検知器は付けないといけない。安全原則は 2 重にかけるべきである（停電時の対策もしてください。UPS の設置等）。メタンガスは無臭でも酸素がなければ酸欠でたおれてしまう。
60 歳以上	新治	小中学生の保護者の意見を尊重して決めてください。
40 歳代	新治	今後、新治小に入学予定の子どもを持つ親です。学校再編について、計画を進めて合併することについては賛成です。地元自治会が保護者と情報共有しながら話を進めていただきたいです。合併しないと子供達にとってデメリットが多いと思います。
40 歳代	新治	本納小が 9 月に本納中に入ると思います。本納中の生徒（保護者）は、小学生を受け入れる体制ができているとは思えません。周辺歩道の工事や運動場（グラウンド）の一部工事、8 月末に完成するのか、そういった話（手紙）を早く出してほしいです。地域説明会の内容をホームページで閲覧できるようにしてください。
60 歳以上	新治	子供達にとっての最良が中心です。データからみて、早急な統合が必要。自治会が前面でなく、バックアップであるべき。
60 歳以上		住民意見交換会 返事があいまい。

60 歳以上	新治	柴名の〇〇です。通常接見及びお話ができない特別職の内田教育長に意見を述べさせていただきます。私は今回の新治小と本納小の統合については全面的に反対です。そして新治小存続の為小規模特認校の申請を切望いたします。そもそも現在の学校再編審議会は何ら地元の意見を十分に把握せず、それに基づく審議が行われていない状況です。教育委員会の目的意向に従って審議を進めているだけです。議事録を一読すれば明白です。議長は学校の校長上がりだそうですね？これでは地元の意見を十分に審議できる訳がありません。教育委員会の傀儡に過ぎません。要求致します。現在の審議会は解散して、どの色にも染まっていない会長であらゆる角度から洞察して、地元の意見を十分に考慮して教育委員会に答申できる公平な人材を選出してください。もしこの答申が無視された場合は地元の再編反対の書名活動に入ります。（もちろん教育長の解任も視野に入れます）限られた時間ですので今回は以上と致します。前向きにご検討くださいますように宜しくです。返事が必要です。（可能な限り）
60 歳以上	新治	①市の学校再編の進め方に大きな問題あり。②地元の意見を無視するような事は納得いかない。③文科省への合併「確約書」については違法性あり。④メタンガスは自然排気では難しいと考える。⑤慢性毒性のエビデンスを明示すること。
60 歳以上	新治	小中一貫校よりも環境を重視してください。
60 歳以上	新治	1. 地元の理解が得られるよう丁寧に進めてほしい。2. 跡地利用は、地元の意見を聞きながら地域の拠点となるよう検討されたい。3. バス通学の件は親御さんの意見をよく聞いて
60 歳以上	新治	子どもたちに安全な教育環境をお願いします。もし、水・ガスによる災害が発生した場合、市はどう対処しますか。
30 歳代	新治	統合で良くなる事ばかり話していて、統合は成功すると思込ませて、教育委員会は、統合に失敗したら責任を取るのですか？統合について真剣に考えているのですか？毎回納得した答弁をしないですね。
60 歳以上	新治	教育委員会への不信感が強い。本納小へ新治小を統合するとの方針があり、極めて危険であることを承知の上、新治小の生徒を行かせるようとした。何も考えていない。年度の計画に合うよう、行動しているだけ。スタートからしておかしい。最初からやり直し！
60 歳以上	新治	再編は基本的に賛成ですが、本納中の校舎も築年数が 60 年近くになり、建替えが考えられる。その時は、安全な場所を選定していただきたい。
50 歳代	新治	新治小に本納小の生徒を入れてはどうか？
60 歳以上	新治	決定したなら、スピードをもって進めてください。
30 歳代	新治	早急に統廃合は進めてください。ただ地域に対しても保護者に対しても説明が少ないと思う。正直に言って茂原市の進め方は下手です。言った／言わないを避けるためにはきちんと文書で提出して、理解を得るべき。また地域が求めている理由を聞き出しても良い。あとは、やはり中学校内の校舎及び運動場は狭い。後で学校再編審議会を立ち上げて話し合うのではなく、先に委員を立ち上げて地域や P T A に納得できる形や運営を話し合い始めた方が良いと感じる。

40 歳代	新治	<p>何をどう考えても新治小学校を使用し続けた方が子供達にとって一番安全です。新治小が狭いのならば豊岡小がベストだと思います。本納中学校の周り、歩道というしっかりした歩道を確保できるのですか？小学生が歩くには危険すぎます。また、雨の日は送迎の車で大渋滞で、さらに危険です。校舎の事だけでなく、周辺の事もちゃんと考えた結果の新校舎建設とは思えません。校舎内に浸水がないからといって、普段の登校時に危険をとまなっては、子供を通わせたいと思えません。グリーンベルトだけでは、車道と歩道を分けるのは難しいと思います。車がすれ違うのもやっとの幅で、歩行者の安全を守れるとは思えません。今までの意見交換会で、中学校敷地内での小学校は反対です！と意見しているのに、その意見が資料に掲載されていないのはなぜですか？小学生が伸び伸び小学校生活を送る為には、新治小がダメなら豊岡小を使用して、新治・本納・豊岡の3校の統合を希望します！！</p>
60 歳以上	五郷	<p>新治の子供達も茂原市の次世代の大切な担い手であります。当たり前前の教育を当たり前前に受けられるように、環境整備をお願いします。市内どこに住んでいても、市内の子供達は全て茂原市の宝です。友達は喜びを倍とし、悲しみを半減してくれます。友達は財産です。子供達が未来に大きくはばたけるように環境作りを早くお願いします。学校再編審議会に対する意見が出ましたが、新治小の再編が思うようにならないからと、自然体のバランスを見ながら進めていただいている。子供達の為の審議会となっています。まったく問題なし。役員全員が継続をお願いします。出過ぎた発言がありましたので。</p>
60 歳以上	新治	<p>失礼な会議、何の会議なのか？あら探し、何やってるんだ 反対のための反対の会議父兄の80%賛成なのでそれを尊重して1年でも早く統合してほしいです。今日の会議、子供のいる母親の切実な勇気ある発言 代表しての発言です。これが新治地区の本当の意見と思って学校再編審議会で統合を早く進めてください。また、きちっとやってくれてる審議会の人たちに申し訳ない発言のあった事をお詫び申し上げると同時に地域として恥ずかしい会議であったことを深く反省します。ご苦労様でした。</p>

豊岡地区住民意見交換会 提出意見集計 [5/15, 19 開催分]

○提出意見 14件 ※原則として原文のまま掲載

記入者		意見
60 歳以上	豊岡	統合はやむを得ないかもしれないが、水害、ガス、騒音など、環境があまり良くない場所に校舎を建てたことは理解できない。豊岡小に3校をもってくれば良い。
60 歳以上		はじめは法目またはその他地先に豊岡、本納、新治と一緒に統合することでしたが、コロリコロリ内容が一変し、教育長関係者が適当な判断で中学校の内に移動することですが、私は判断に苦しむ。大雨、台風の際、おまえらも来てくれ！！何回もTV放映している！！初めは本納小裏の崖も大丈夫だと言ったことを覚えているか！！適当なことばかり言うんじゃない！！
60 歳以上	新治	豊岡の方々も合併には反対しているようです。これからは地域の方々と十分話し合っただけで納得の形で進めてください。
60 歳以上	豊岡	10 ページ I-6、I-7 はメリットだけ デメリットもある場合、特色ある教育とは？具体的な記載がない。プールはどうするのか？
60 歳以上	豊岡	反対します。浸水の中の小学校
60 歳以上	豊岡	皆さんの意見を聞き、現在の場所への統廃合には無理があると強く感じました。豊岡小は残すべきである。
30 歳代	本納・豊岡	豊岡小は絶対に残してほしいです。本納中学校で統合ではなく、豊岡小に統合してほしいです。統合のメリットにクラス替えができるとありました。小中一貫校にして、クラス替えができるなどのメリットは関係ないですよ？統合と小中一貫校を一緒に考えないでいただきたいです。宜しくお願ひ致します。シューター怖いです。
40 歳代	豊岡	なぜ子供が減少するのか・・・その理由をもっとよく考えていただきたいです。子どもが住みやすい、育てやすい 私は豊岡にきてそう思いました。でも大きくなった子ども達は企業が外房線なら寮に入ってくださいと言われました。育てやすいだけでなく次の世代に続くような、そんな町づくりをしていただきたいです。自然豊かな豊岡小をなくすのはおかしいです。教育の為には何が必要か・・・大事なことは何かもっといろんな世代を交えて意見をもっともっと聞いてほしいです。通って学ぶのは子ども達です。
60 歳以上	豊岡	答申に統合時期は記入せざるを得ないと思いますが、決定後も住民（保護者）アンケートを随時採りながら進めることができればと思います。（いろいろ意見があるので）
60 歳以上	豊岡	先祖、父、私事とこの小学校（豊岡小）にお世話になってきた中で、気候変動の中で水害等の心配はなかったですが、本納中の場所では安心して行かせられない。小学生と中学生との運動場での危険はないでしょうか？

60 歳以上	豊岡	豊岡地区住民はなぜ本納中のあの場所とか疑問の声が多い。豊岡小の自然環境を是非活かして欲しい。
30 歳代	豊岡	豊岡小学校は自然環境豊かで、教育環境としてとても恵まれていると思っています。少なくとも、本納中学校の小さな敷地内よりも確実に。小中一貫教育や特色ある教育プログラムと何度説明を受けても、統合のための理由づけにしか聞こえません。あいさつや言葉づかいなど当たり前すぎて、これを教育重点と言われても。本納ではなく、豊岡の子として誇りを持たせる教育は必要だと思います。30 人学級案も出ている現状を柔軟に考えて強引な統合はやめて下さい。
60 歳以上	豊岡	小学校の統合は賛成ですが、移転先には反対です。豊岡小は緑豊かな環境です。こんな環境の良いところから、どうして本納中の敷地内の水害も心配で、線路に近い場所に移転しなくてはならないのでしょうか？ もう少し、子供たちのことを考えた環境の良い移転先を考えてほしいものです。知人の息子さんが、両親が高齢になった為、親の敷地に新築を考えたが、豊岡小の統合、移転先の場所を聞いて、隣の市に変更したそうです。自分の子供をあの中学校敷地内の小学校には通わせたくないとの理由です。このことから、豊岡幼稚園も移転して小学校も移転、地元で生活を考えている若い人も少なくなり、豊岡地区が過疎化していくのではないかと心配です。
20 歳代	豊岡	統廃合することは賛成ですが、移転先に反対です。長南町の小中一貫校はとても魅力的ですが、移転先は広くて環境が良いといえますか？教育環境を考えてくれているのであれば、移転先が水害問題やガス問題がある場所にならなかつたはず。賛成派の意見も聞きたいです。質問に対する答えが明確ではなかった。保護者アンケートですが、統廃合することに賛成している人は多いと思いますが、移転先問題は別だと思います。現段階での賛成 or 反対アンケートを実施してほしいです。難しい言葉を並べた資料を渡されても何が言いたいのか良くわかりません。もっとわかりやすく、全ての質問に対して保護者や住民が納得するように説明してください。

五郷地区住民意見交換会 提出意見集計[5/9, 12 開催分]

○提出意見 13件 ※原則として原文のまま掲載

記入者		意見
30 歳代	五郷	意見交換会に足を運ぶことが難しい時期に、この場で発言するのは大変なことだと思った。紙面でのアンケートをもっとおこなってほしい。意見をかかえている人がたくさんいると思う。五郷地区のアンケート内に学区の見直しも含め、考えてほしいという部分があったが、学区の見直しは考えずに、早野・南の両学区としたのか、どんな話し合いの経緯があったのか、知りたかった。
40 歳代	五郷	とにかく通学路が心配です。意見にも出ていましたが、通学路の安全を確保してください。コスモマンションの子は、五郷小へ向かい、中学生は自転車で南中に向かう。危険です。早野中、部活がこんなに少ないことは知らなかったです。
60 歳以上	五郷	統合には賛成 通学路の整備は必要である。
40 歳代	その他	発言の旨、うまく説明できなかったかもしれないので、今一度記入します。現在、学区の違いにより相手側の危険箇所が分かりづらいと思います。現在南中学校区内にある五郷方面からの危険箇所を把握するにあたり、洗い出しが必要とのこと。 (両学区側に意見をつのるとか)
40 歳代	その他	生徒数の減少で学校再編はやむを得ないと思っています。私は今、家庭の事情で鷺巣に住んでいます。子供は五郷小 5 年生です。学区は西小ですが、引き続き五郷小へかよわせて頂いておりますが、中学は富士見中へとされています。生徒数が少なくなった今、(娘は早野中へ通いたいと言っています。親の私も早野中へ通わせたいです。早野の方が近いです。通学路も安全です。富士見は遠くて通学がとても危険です。) 子供が通いたい中学へ通わせて頂きたいです。子供が早野中へ通うには住所を移さなければなりません。かんたんに引越しを言われても、時間もお金もかかります。住所を移せる土地のある人は畑などの住所を使って、住所移動していると聞きました。畑の住所を使って行きたい中学へ行く子、行きたくても住所が移せなくて (今年泣く泣く富士見中へ行った子もいます。) 通えず、泣きながら他の学校へ行く子、こんなことがあっていいのでしょうか? この再編と同時に学区の見直しをお願いしたいです。手紙には子どもたちの為にとたくさん書いてあります。学区の見直しをして、泣かずに、諦めずに笑顔で子供たちが通えるようにしてほしいです。よろしくお願い致します。
60 歳以上	五郷	早野中の生徒が 20~30 年前から半減以上である一小一中の良さもあるが、子どもたちの中では順位固定制になり、世の中に出て生きる力が身につくにくい。現状は厳しい。○早野中の部活動は維持できない状態で既にある切磋琢磨していいは課題が多すぎる。世の中に出て生きる力を養うための生徒数ではない。○大人数の中でのリーダー養成の面からも全体を導く力をいちばん養える時期である。いろいろな意見、考え、行動する集団 (大人数) の中での経験がとても重要である。学力、体力、心の力の育成は欠かせない。○登下校の安全対策に十分留意してほしい (特に自転車通学について) ○加配教員の確保 統合により・授業の充実・生徒指導の充実を

		図ってほしい。
50 歳代	五郷	私の中3になる時に南中から早野中に分かれました。当時は生徒数も多く、1学年10クラスあり、同学年でも顔だけ覚えているだけの友達も多かったです。現在は子どもの数もだいぶ減ってしまい、早野中は限られた部活だけになってしまいました。多種の部活動があることや、他の小学校からの新しい友達と一緒に became 方が子どもたちの成長にとっては良いことだと考えますので、統合は賛成です。一番の心配は通学路の安全です。
40 歳代	五郷	通学の安全面は第一に考え、進めてほしいと思います。子どもの数が少ないと先生の確保ができないなど、部活もできなくなるのが残念です。
40 歳代	五郷	学年の1, 2年生から南中に行くことになる場合、制服はどうなりますか。通学路、現在早野中に通う子ども、さきほど意見がでた箇所を通う子がいるのではないのでしょうか。
40 歳代	五郷	意見させていただきました。はやい統合をお願いします。
50 歳代	その他	何よりも子ども達にとって良い教育環境になるよう、よろしく願いいたします。
40 歳代	五郷	R8年4月の統合予定ということで、中学3年生の子どもたちは部活(中3で突然南中の部活に入る)も、受験など困難が多々生じると思います。移行期間を設けて入学時早野中か南中か選ばせていただけると移行期間の子どもたちも安心できると思います。南中に入る部活も充実とありましたが、中3の4月から新たなメンバーと突然練習⇒試合は困難だと思います。
60 歳以上	五郷	早野中学校の無くなることは大変残念です。我々大人は、過去の歴史と思い出に、生きていますから。しかし子供達は未来に生きています。一小学校、一中学校で、しかも小規模では社会的資質向上に、不足が多いと思われます。そこで早野中学校がどうのではなく、子供達の輝かしい未来の為に、切磋琢磨できる適正規模の南中学校で早く学ばせてあげたいと考えます。過去に生きる大人のエゴで、当たり前教育を受ける子どもの権利を狭くしてはならないと考えます。善は急げと言います。五郷小学校の子どもたちの輝く未来の為に令和4年4月1日からの統合を是非実現させてあげてください。子供は地域の宝と言います。その子供達が、早くしかも大きく輝くように、地域でできることは環境づくりです。五郷地区は前向きです。再編計画によりますと令和8年までにはと計画がありますが、子供たちが良くなることです。先延ばし待つことは無いと思います。又この統合を機会に、市内全域に、子供達の為にという機運が高まることも期待します。あとは学校再編審議会の中山会長はじめ委員の皆さまのご英断にご期待申し上げ、意見とさせていただきます。

茂原市学校再編に関する住民意見交換会 議事録

【本納小学校】

○ 日 時：令和3年5月18日（火）19：00～19：50

○ 場 所：本納小体育館

○ 参加者：15名

- ・ 審議会委員 3名
- ・ 教育委員 1名
- ・ 事務局 17名

教育長	内田 達也
教育部長	中村 一之
教育部次長（教育総務課長）	佐久間 尉介
学校教育課長	金澤 勤
学校教育課主幹	伊藤 信博
学校教育課主幹	宮内 智之
教育総務課長補佐	小安 宏尚
教育総務課学校再編推進室長	大橋 康博
教育総務課総務係長	吉野 司
教育総務課学校再編推進室主査	石田 卓也
教育総務課総務係副主査	太田 智弘
教育総務課学校再編推進室主事	紺野 晃弘
教育総務課学校再編推進室	深山 秀樹
教育総務課学校再編推進室	狩野 久志
防災対策課長	小久保 堅
企画財政部次長（企画政策課長）	木島 成浩
都市建設部次長（土木建設課長）	白井 高
土木管理課長	本間 一裕

- 1 開 会
- 2 教育長あいさつ
- 3 茂原市の学校再編について 事務局にて資料に基づいて説明
- 4 意見交換

（以下、意見交換）

住 民 現在、息子の方がサッカークラブで小学校の校庭の方を使わせていただいている。7月には移転するので校庭の方は使えないと言われたが、校庭や体育館の有効活用というのはどのように考えているのか。

中 村 部 長 土砂災害の警戒区域に指定されているということから、天候だとか安全性に十分配慮をした中で、安全に利用できる状況であればできるだけ住民の方に使っていただけるよう、検討していく。

住 民 崖が危険区域に指定されるということで立入禁止になるのではないかと、という不安があり、もう校庭使わせていただけないのではないかと考えていた。

以前、中学校の第2グラウンドとして使用することはどうなったのか。

- 佐久間次長 本納中学校の第2グラウンドの件は、現状ではまだ決まっていない。
- 住 民 崖の方は心配のないように何か補強とか考えているのか、それとも、雨の日とか地震などが無い日は、使用して良いという感じか。
- 大橋室長 現在のところ崖の方を措置する考えはない。危険がないように条件を付けて、制限した中で利用できないかを検討している。
- 住 民 本納中学校の整備計画の中にはないが、もう少し土等を入れて使いやすいグラウンドにしてほしい。また、本納中学校の周りのフェンスが切れていたり、いろいろな不都合な箇所がある。新校舎に小学生が入って行く前に整備も一緒にやっていただけないか。
- 佐久間次長 グラウンドの整備やフェンスについては、予算の確保等にも努めて子供たちの環境整備に力を尽くしていきたい。
- 住 民 学校の周辺で変質者や盗撮の情報があつた。小学校から連絡が来るのと来ないのがあるが、いろいろな事件があると思うが、どのように市役所は把握し、小学校や中学校に連絡して、保護者に来るのか。
- 金澤課長 確かに最近そういった情報が幾つか入ってきている。中には確かな情報ではなくて、誤報が確認できたものも入ってくる。市の方では、まずいちばん多くの情報をもらえるのは、学校から入ってくることが多い。その情報を市は青少年指導センターや市の生活課と情報を共有する。そして、市内の他の学校、状況によっては他の地域、地区の方にも流れるように、一斉に情報の伝達を行っている。当然学校の方からは、その情報がすぐの情報であれば、子供たちの集団下校を確認したり、保護者に緊急に引き渡しをお願いをしたりする。
- 情報の共有をしながら子供たちの安全を考えて対応している。
- 住 民 この辺りは雨が降ると、通学路が沈んでしまったりするが、その対策は何か進んでいるのか。
- 白井次長 本納地区については河川整備事業が進んでいかないと抜本的な対策にはならないと考えている。市としては、県の事業で行っている赤目川の改修事業、それに流れ込む市が管理する乗川（のりかわ）の整備に取り組んでいる状況である。引き続き、県に対しては事業推進を図るように、要望していきたい。
- 住 民 新しい学校まで家からどういうふうな通学ルートになるのか、いつごろ、どのような形で決まるのか。また、基準となるルートはどのような形で決定されるのか。
- 金澤課長 基本的には9月の移転に間に合うように、子供たちの家から本納中学校の今できている校舎に向けて、どのルートを通るといちばん安全に登校できるか、学校で検討している。車の通行と子供たちの歩く場所とを考えた中で、このルートを集団登校しようというような形で決めていく。保護者の方からも子供たちの登校に際して、学校と情報を共有しながら進めてほしい。
- 住 民 中学校の周りの道路幅員が狭いという状況であり、道路管理者は市道になるかと思うので、市役所の各課が連携をして道路整備をしてほしい。

白井次長 学校周辺の道路整備については、北側の通りの本宿下踏切から橋樹神社にかけての道路が一部歩道がないため、歩道整備に今取り組んでいる。これから用地を取得して工事に入っていきような計画である。

学校の前の道路については、グリーンベルトを設置して安全対策に取り組んでいく。

住民 現在、コロナ禍で学校が閉鎖されるというような状況があり、オンライン授業については茂原市はどのようになっているのか。

金澤課長 茂原市については、県内の千葉市とか東葛の方と異なり、まん延防止の対象地区外になっているが、引き続き感染防止に取り組んでいきたい。

学校においては、今の1人1台のコンピューターが割り当てられ、ICTを活用した授業をできるだけ使っていきながら、子供たちに情報活用能力等の力を付けていきたい。臨時休業等になった場合のオンライン授業等については、今の段階ではすぐに始められるような準備までは進んでいない。

状況を見ながら子供たちの学習がきちんと保障されるように精一杯考えていく。

住民 新校舎の教室の数は、あまり多くないと思うが、合併して小学校のクラスが1学年2クラスずつになると、どのようになるのか。クラスが全部入るのか。

大橋室長 資料の(28ページ)本納ニュータウンを見込んだ児童生徒数のところで、本納小中学校の教室数は24教室とある。小学校新校舎は8教室なので、不足部分が生じたときには、中学校の教室を使っていく。

住民 高学年の子供たちが中学校の方の教室を使うことになるのか。

大橋室長 その時の状況によるが、基本的には新校舎の方が低学年を中心に埋めていきような形にして、高学年の方が中学校の校舎を使うような形になるかと思う。

住民 今年、修学旅行やイベントなどが中止になってしまうのか。小学校の生活の中で、子供たちが楽しみにしていたイベントがなくなるのは、すごくかわいそうだなと思う。

金澤課長 昨年度は茂原市内の小中学校は、一斉に全部の学校が修学旅行を中止する判断をした。これは感染の予防を考えてのことである。各学校では、それに替わる学習や行事をした。

今年度については今のところ一斉に中止ではなく、あくまでも感染防止を十分に踏まえた上で、保護者の方の理解と子供たちの考え等を総合的に考えて各学校で十分検討して行くこととしている。

今年度は子供たちに行かせてあげたいと思っているが、やはり優先は子供たちの安全ということが第1となるので、各学校の判断を待ちたい。

茂原市学校再編に関する住民意見交換会 議事録

【五郷小学校】

- 日 時：令和3年5月12日（水）19：00～20：00
- 場 所：五郷小体育館
- 参加者：10名
 - ・ 審議会委員 2名
 - ・ 事務局 17名

教育長	内田 達也
教育部長	中村 一之
教育部次長（教育総務課長）	佐久間 尉介
学校教育課長	金澤 勤
学校教育課主幹	宮内 智之
教育総務課長補佐	小安 宏尚
教育総務課学校再編推進室長	大橋 康博
教育総務課総務係長	吉野 司
教育総務課学校再編推進室主査	石田 卓也
教育総務課総務係副主査	太田 智弘
教育総務課学校再編推進室主事	紺野 晃弘
教育総務課学校再編推進室	深山 秀樹
教育総務課学校再編推進室	狩野 久志
防災対策課長	小久保 堅
企画政策課長補佐	永棟 圭介
都市建設部次長（土木建設課長）	白井 高
土木管理課用地管理係長	関 友和

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 茂原市の学校再編について 事務局にて資料に基づいて説明
- 4 意見交換

（以下、意見交換）

住 民 南中学校の土砂災害防止法の指定（レッドゾーン・イエローゾーン）にかかる対策はあるのか。

大橋室長 ハード対策については必要であると考えている。国や県の補助金の利用が可能かなどの調査を行っている。土地のほとんどが民有地で地権者も多い。崖に対する事業を行うとなると、多額の費用や地権者の同意も必要である。まずは、どのような対策が最も適当であるか。庁内協議や現地調査などをしながら進めていきたい。

住 民 この話は南中学校の生徒、保護者等は知っているか。

大橋室長 南中学校の保護者には指定されることについて、令和2年10月30日に通知を出してある。

- 住 民 通達して、何か反応はあったか。
- 大橋室長 学校の方に当時聞いたときには、特に連絡等は入っていないという話であった。
- 住 民 移転する側の早野中学校の保護者に先に説明をし、新しい生徒を迎える側の南中学校の保護者への説明が十分ではないような気がする。
- イエローゾーンにかかる校舎は、生徒が入る教室があるのか。
- 大橋室長 1階の部分で特別支援学級が少しかかる。
- 住 民 そういう学級は、別の離れた場所に移転するのか。令和8年度には、早野中学校の生徒が南中学校に異動するとクラスが必然的に増えてくる。それでもクラス教室は足りるといふことか。
- 大橋室長 教室数は足りるといふ見通しである。避難の体制については、特別支援学級を他の場所に移すかについて学校内で協議したが、職員室から近い方がよいといふことで、現状の位置を考えているといふことであった。
- 住 民 県内他市のアンケート結果を載せてあるが、前向きな内容のアンケート結果だけと思ふ。マイナス方向のアンケート結果を見せてほしい。
- 大橋室長 この資料は、WEBページで公開されている県内の勝浦市のものを抜粋して載せている。これ以外のものについては、承知してないような状況である。
- 司 会 データは、特に良いところをかいつまんで特段出したものではない。（公開されている内容を見ただけであれば確認できる。
- 住 民 直近で統合した富士見中と西陵中の生徒の意見を知りたいが、そのようなものはあるか。
- 大橋室長 西陵中と富士見中の統合に関しては選択制をとり、最後9名の生徒が最終的に富士見に行くといふようなスタイルになったので、この件についてアンケート調査は行っていない。二宮小学校と緑ヶ丘小学校は、児童数がそれぞれいる中での統合で、こちらについてはアンケートを実施した。統合前と、そして統合後といふことで、今後やっていく予定である。
- 住 民 どのような意見があったか。小学生なので中学生と違うところでどういった意見があったのか教えてほしい。
- 大橋室長 勉強に関すること、友達に関することについて、とても楽しみであるとか、少し楽しみであるとかといふところが、大きくプラスに出ている。何か不安なことがあるか、困っていること等あるかといふ質問に対しては、緑ヶ丘小の児童はほとんどないが、二宮小の方は、70%ぐらいあるといふ結果になっている。今後の変化もアンケートをしながら見ていく。
- 住 民 統合時期について、令和8年4月1日までに統合するといふことは、決定といふことでいいか。
- 佐久間次長 学校再編審議会からは現在の案という形で示されている。皆様のご意見をお伺いしたいといふことで今回開催している。まだ確定ではない。
- 住 民 早まる可能性もあるといふことでいいか。子供たちが主役なので、来年からでも再来年からでの統合でも良い。できるなら早く、子供たちに南中に行くよ

という心の準備をさせたいと思っているので、その可能性というか、先行きというのはどういう予定か。

佐久間次長 現段階で学校再編審議会から出された意見を本日お話させていただいている。本日の意見を学校再編審議会へ報告し、審議していただき、答申を出していただく。その後の最終的な決定は、教育委員会で市長部局と連携を取りながら決めていくので、必ずしも令和8年ということになるわけではない。

住 民 それを決めるのはいつか。

佐久間次長 スケジュール的には、この後、再編審議会を催して、6月中に答申をいただく予定になっている。その後、市役所の中で第二次実施計画を作成して、8月の終わりか9月には実施計画を作成したいと考えている。

住 民 8月末までに、統合の時期を決めることでいいか。

大橋室長 現段階では、審議会に今回いただいたご意見を報告する。すると現在は、令和8年4月1日までに統合となっているので、まずそこが変わるのか、現在のままで答申が出されるのか、まず1点目としてここが変わるタイミングになる。もう一つとして、答申の内容が、統合時期を決定してくるのか、それとも令和8年4月1日までに統合の状態であるのかということになる。更に計画で、どのように位置づけるのか、現状ではどちらの方法も考えられると思う。

住 民 諸課題、諸問題があり、それをクリアしないと統合できないのは十分わかっているが、子供のことなので、確実にその時期までに統合するというのを示すべきだ。本納小と新治小の変更ありの理由を知りたい。

大橋室長 第5回審議会ですべて具体的な学校再編案が示された。その後に住民意見交換会をやる予定であったが中止となった。それに伴いスケジュールの変更があった。スケジュールの変更があった段階で、全体的に計画策定までが遅れ、統合するための時間の確保が難しくなり、最終的に統合時期を遅らせる形となった。

住 民 中止になった理由は、このコロナの関係なのか。

佐久間次長 コロナの関係である。新治小と本納小の場合は、通学のスクールバスとかの関係が出てくる。これらを考慮すると、令和4年の統合が事務上でも厳しい。

計画自体は、8月の後半に確定になる予定。その後、議会の方に（条例を）かける。そこで仮に反対というような形で意思表示をされると、この計画がこのままの形ではいなくなるということである。

住 民 議員さんによって早まる可能性はあるのか。

佐久間次長 議員さんによってというよりも、こちらの計画に基づく条例をご可決いただければということになる。

住 民 早野中学校は小学生ではないので、スクールバスはないと思うので、今の理由からいくと、大丈夫なのかなと思う。しかし、市議会議員の方の影響にも、随分左右されるということか。

大橋室長 計画の中で最終的にはその統合時期を、まず教育委員会の方で決定する。その後、統合時期の条例を議会に出して、これは設置条例の関係ですが、その設置条例を議会で議決を得て、統合が確定するという形になる。

- 住 民 通学路の問題、狭いところも多いと思う。南中学校まで通うとなった場合、なかなかの距離があると思うが、通学路の整備は何か進んだ点があるか。
- 白井次長 通学路の整備については、現在、「サトペン」の交差点改良事業を千葉県の方で取り組んでいるが、そこから「びいの」の交差点に向けて、一部区間にセンターラインが入ってないような状況があるので、統合時期に間に合うように、歩道を整備するような計画で調査を行っている。
- 住 民 中学生は基本スクールバスはなし、自転車での通学が基本か。
- 大橋室長 中学生については自転車通学になる。
- 住 民 本納中学校はすごく広いが、自転車通学か。
- 大橋室長 そのとおりである。
- 住 民 例えば統合が決定すると、何年前にアナウンスされるのか。
- 大橋室長 アナウンス時期までは決定していない。しかし、西陵中等の準備委員会を考えると、準備に2年間程度あった方が適当であると考えている。ただし、最終的に条例が可決され統合時期が決まるので、その辺のバランスもある。計画の方向性については、当然計画ができた時に、皆さんにお示しする。
- 住 民 来年4月から南中と統合することということもあるか。議会のせいにするわけではないが、大人の諸事情で子供たちが影響を受けると思う。やはり子供が主役なので、そこをきちんとしておかないといけない。
- 大橋室長 来年4月の統合というご意見ですが、これは準備に時間がないかなという考えである。そういったご意見があったことは審議会に上げさせていただく。準備委員会についても、条例制定前に準備委員会を立ち上げるというやり方もある。

茂原市学校再編に関する住民意見交換会 議事録

【豊岡小学校】

- 日 時：令和3年5月19日（水）19：00～20：45
- 場 所：豊岡小体育館
- 参加者：15名
 - ・ 審議会委員 2名
 - ・ 事務局 18名

教育長	内田 達也
教育部長	中村 一之
教育部次長（教育総務課長）	佐久間 尉介
学校教育課長	金澤 勤
学校教育課主幹	伊藤 信博
学校教育課主幹	宮内 智之
教育総務課長補佐	小安 宏尚
教育総務課学校再編推進室長	大橋 康博
教育総務課係長	吉野 司
教育総務課学校再編推進室主査	石田 卓也
教育総務課総務係副主査	太田 智弘
教育総務課学校再編推進室主事	紺野 晃弘
教育総務課学校再編推進室	深山 秀樹
教育総務課学校再編推進室	狩野 久志
防災対策課長	小久保 堅
企画政策課長補佐	永棟 圭介
土木建設課長補佐	細谷 明弘
土木管理課長補佐	鈴木 久幸

- 1 開 会
- 2 教育長あいさつ
- 3 茂原市の学校再編について 事務局にて資料に基づいて説明
- 4 意見交換

（以下、意見交換）

住 民 学校再編については、反対はしていない。将来的に再編というのは、反対ではない。なぜ、あの場所に本納小学校を建設するのか。本納地区の保護者の方から早急なる本納小を安全な場所につくって欲しいという意見があったというような答えが出ると思う。果たしてあの場所が安全で、教育にいいと思うか。私はそう思わない。2019年度の水害の時も、大水の中で、保護者の方が中学まで迎えに行くのも困難な状態だった。そこに小学生を通わせるのか。鉄道、JRも通っている。どれだけの防音対策をしているかわからないけれども、いろいろなデメリットがあると思う。

小中一貫教育っていうのは、具体的にどのようなものか、茂原市の教育委

員会として、本納小本納中でどういことをやりたいか全く見えない。統廃合に反対しないと言ったが、私の孫はあそこには通わせたくない。

佐久間次長 第一次実施計画の中において、本納地区の3小学校を統合し、特色ある教育を推進する、というような中でスタートしている。そこで、残念なことではあったが、本納小裏の崖が土砂災害警戒区域の指定を受けた。その中で、本納小のPTAの方たちから、一刻も早く本納小を何とかして欲しいという要望をいただいた。私どもの計画とも合致している中で、市役所内でも協議をした。子供たちの安全を最優先に考えるということで、進めてきたわけである。その中で、既存校舎との連携を考えた。校舎の設計や建築方法も工夫をしている。周辺道路の整備等も、グリーンベルトなどをやっている。安心安全な学校づくりに取り組んでいる。

金澤課長 令和元年、今まで経験したことなかった大雨が、茂原市全体にも降った。本納地区の周辺にも水がたくさんたまった。一部の子供たちが、水がたまった中を下校するという危険な状況もあった。茂原市としては、それまでは中学校区を基本としながらも、校長の判断で子供たちの下校や登校について決めていた。しかし、各学校の判断ではなくて、茂原市全体として統一した基準が必要だと判断し、昨年度から統一した基準を定めた。気象庁からの大雨警報や洪水警報が出た場合には、それが6時の時点で出ている場合は、市内の全小中学校は臨時休業にするなどして命を守る対応をする。

小中一貫教育は、聞き慣れない言葉であると思うが、国の定義としては、小中学校段階の教員が目指す子供像を共有して、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指す教育と定められている。今までの6年間と3年間をつなげた形で、9年間を一つの大きなまとまりとしてとらえ、学びの連続性を図る。小学校と中学校の生活面の指導がうまく繋がるようにする。これを総称して「スタンダード」という呼び方をしている。学習面でのスタンダードもある。この4月から本納中学校区では、本納中・本納小・新治小・豊岡小学校、4校で小中一貫教育を進めている。生活習慣について、特に4校で力を入れていこうと決めていることが、挨拶と言葉遣いについてである。また、学習面での決まりについては、話し方と聞き方について4校で特に意識をして子供たちに指導していくようにしている。行事等も一緒に実施することで、中学生の立場からしてみると、小学生の手本になるような気持ち芽生えてきたり、小学生もお兄さんお姉さんに感謝をする気持ちを持ったりということで、小中一貫教育の良いところではないかと考えている。

住民 大変参考になった意見、答弁だと思う。小学生の子供たちが、中学校のお兄さん方と一緒に遊べる、それで社会のルールを教わると、そういうのは大変大事なことだと思う。それ以外のことについては、教育のこの一環の流れというのは、別に隣に校舎があるから、そういう一貫の流れで教育ができるとは思わない。やはり、6年間で学んで、別の場所にある中学校に行って、中学生生活をおくる。それはさほど変わらないと思う。しかし、近い場所で、

お兄さんお姉さん方と子供たちが接して、社会ルールを学ぶことは大変重要なことだと思う。

グラウンドの使い方とか、遊具整備、これはどうなっているか。

大橋室長 プールを撤去して、そこに小学生が使えるような遊具を設置する。すべり台などの遊具を設置する。

住民 グラウンドを使って、小学生の子供たちは遊ばないのか。そうしたら、中学生のお兄さんお姉さんと小学生の子供たちが、相まみえて遊ぶってことができないのではないか。この中に押し込めて、子供たちが外で伸び伸びと遊ぶことができないのではないか。

金澤課長 いろいろな状況が想定されると思うが、小学生が遊具がなくて困らないように、遊具をつくる予定でいる。小学生は遊具も使えるし、広いところでも空いていれば、そこで一緒に遊ぶこともできる。グラウンドをうまくみんなで協力しながら、譲り合いながら、一緒に使っていくっていうことが、実際のことになる。

住民 統廃合により、教職員の採用も当然抑えてきているという観点から、特色ある小中一貫の本納中学校、実際どういう考え方なのか、総論的には伺ったが各論が全然わからない。例えばでもいいので、1例2例、出していただいた中で、具体的に子供たちのためにする特色ある教育環境というものを、説明してほしい。

金澤課長 教員の数は法律で決まっており、学級の数により教員の基本的な数が決まっている。その他に、各学校で要望を出していく。いろいろな学校から要望が出るので、総合的に考えて千葉県全体で、要望を見ながら配置していくことになる。本納小、本納中、新治小、豊岡小学校の小中一貫教育を進めるにあたって、学校の方から要望してもらった中で、その要望が通れば、先生が増えることになる。そして、特色ある教育の一つとしては、中学校の先生が小学校に指導に行き、専門的な立場から子供たちに指導したり、乗り入れ指導をしたりすることを計画し進めている。また、職員数の関係にもよるが、小学校の先生が、中学校に行って、教えてあげるなどのきめ細かな指導についても、できる範囲で進めていく。

住民 特色ある教育というのは具体的に言うと、例えば、タブレット端末を使ってパイロット的に何年生はやるとか、そういう具体的な話を出していただきたい。そうしなければ今の話は誰でも考えられる話だ。教育の方の予算も当然あると思うが。是非とも、本納中として中学校の名前を残していただくという方向と、それに伴って特色ある教育ということですので、そのくらいを一応考えていただいて、保護者の皆さん方も納得するような方針を出していただくに非常にありがたい。予算も検討した中で無理なのかどうかも、具体的に提示して欲しい。いろいろな説明、特色あるって言っても、そこに対して皆さん方も説明がしやすいかと。予算もあるが、是非とも検討いただければと思う。

金澤課長 子供たちがたくさんいた昭和60年と、今の数は全然違う。法で定まっている以上、学級数に応じた職員数、それから要望に応じた加配の教員ということになっている。学校としてももっともっと先生が欲しいという状況ですけれども、県費負担職員といまして千葉県の方で採用して千葉県の方で雇っているので、頑張っていくますけれども、私たちどもではちょっと決められないということがある。ハードの部分ではこの4月から、国の方針で、小学校1年生から中学校3年生まで、1人1台のパソコンが割り当てをされた。そのコンピューターを使った授業で、情報を活用する力をこれからつけていく必要がある。茂原市としても、そのようなことが専門的に教えられる人を雇い、学校へ行って、教えたりしながら、先生方も研修をしながら、子供たちがコンピューターを活用した授業が進むように計画していく。

住民 私は少子化なのだから、統廃合はやむを得ないとは思っている。これは必然だと思う。ですが、なぜあの場所に必要なのか。それとプラス、二宮小学校と緑ヶ丘小学校の統合。これに対して、市当局はどのようなやり方で、統合したか。

大橋室長 第一次実施計画の中で、統合時期ということが明記された。統合に至るまでは住民との意見交換会や保護者の意見を聞いた中で、計画が策定された。そのあとに準備委員会を立ち上げた。こちらにはPTA、地域の代表、両校の学校の先生にも入っていただいて、その中で、必要な事項について協議した。例えば、校章、学校名、校歌、スクールバスなどを協議しながら決めた。

住民 既存の校舎を使っているわけだね。

大橋室長 統合後の校舎は、緑ヶ丘小の校舎を使っている。

住民 だから先ほどから言っているように、何故あの場所に、小学校校舎を建てなければならなかったのか。逆に言うと、豊岡小学校は、キャパシティはある。教育環境も他に比べたら大変すばらしいものがある。一昨年、茂原市内の全教室にエアコン設置、その前にはこの体育館もそうだが、耐震構造工事もやった。そういうものを踏まえて、今あるものを使わないで、なぜわざわざ劣悪な場所につくるのか。皆さんの税金です。この耐震構造は国からの予算をもらっていると思いますけど国からの予算だって、我々の税金です。統廃合反対とは言っていない。あり方がおかしいと、プロセスがおかしいと思っている。その辺のところを、皆様方本当に、それであれって良かったのか。この先もね。再編問題、新校舎建設にあたって、いい仕事だったなって本当に思うか、自信を持って本当のところを聞きたい。

大橋室長 お手元の資料13ページに今の本納中の位置が書いてある。小学校の児童が減ると、当然中学校の生徒数も減る。第一次実施計画の中では、本納中学校を存続するのかどうなのかということが議論されている。本納中学校の位置というのは他の中学校と近い状態にはないので、本納地域には本納中学校が必要である。これがまず一つとして結論と出た。そして、この本納中学校は本納地域の中心にあるので、小学校3校を一つにしようとしたときには、

それぞれ通学が必要となってくる。児童の負担を考えると、この本納中付近、中心地域がいいだろうと。本納中付近で、土地を調べたが良い土地が見つからない中で、要望が出てきた。要望の内容と、本納中学校の余剰教室を利用できないかというところで、本納中のあの位置に校舎を建てている。使い方としては普通教室以外の特別教室を中学校と共有することになるので、これを効率よくやる場所として位置が決まった。

住 民 35人学級ということで計算すると、豊岡小が合併すると、スペースが足りなくなる。だから、本納中学校の余剰教室を使うという考えですね、今の答弁は。であれば、豊岡小学校には余剰教室があるわけで、なぜそれを有効利用しないのか。わざわざ劣悪な環境に建てて、スクールバスで運行するわけですね。地図で見た感じでは本納中は、本納の大体中心部とは言いが、私は予算の無駄遣いだと思い、新しい校舎を建てることか。

大 橋 室 長 豊岡小学校をそのまま使えば、新しい校舎も使わずに済むだろうというお話だと思う。本納地域の中心というのは本納中あたりになる。もし豊岡小学校を3校の統一する学校として考えた場合には、新治地域の一番遠い地域からスクールバスとはいえ豊岡小まで来なければいけないことになる。また、豊岡小学校も建ててから年数が経っているので、今後大規模改修などの、建物に関する費用というのも大きくかかってくる。その辺を考慮すると、実際に建てた建物は大きい物ではないので、費用的にも小さい中で建てられたということが言える。本納中学校を利用しようと考えているのが、特別教室になり、理科室や家庭科室とか、そういったところは中学生と小学生で共用する。そのために普通教室の設置しかしていない。余剰教室として普通教室もあるので、小学校の教室が今の数で足らなければ、中学校の余剰教室を利用する。

住 民 具体的に中学校に統合されたときの、小さな校舎に移動したときの心配事として、教室数が少ない。廊下とかも余裕がない中で、例えば、女子児童の着替えの問題がある。教室を分けて着替えができるのか。他に、中学校の教室を利用するって聞いているが、小学校に配られた統合に関するメリットみたいなところでは、新しい教室で、床掃除をする必要がありませんとか、そういうことを書かれた手紙をいただいたが、実際、複数学級、1学年に2クラスになると、新しい教室校舎に入れないう学年が出てくると思う。そういうところまでは、具体的に何か決まっているか。

大 橋 室 長 校舎は8教室である。1年生から6年生までが1学年ずつでしたら、小学生すべて新校舎ということになる。それを越えたケースの場合には、高学年が中学校の校舎に入る想定をしている。

金 澤 課 長 更衣室の件、小学校では一般的に二つのクラスを、こちらが男子の更衣室でこちらを女子の更衣室にとしている場合もある。中学校には更衣の場所を設けてあるので、それについても、場所のエリアを決めて対応することは可能であると考えている。

住 民 更衣室の問題については、確実にどうにかなると思う。再編の目的に、必ずクラス替えができるようにしたということが出ている。必ず2クラスにできるのであれば、統合してもメリットはあると思うが、結局1クラスのままだったら、ぎゅうぎゅうだ。教室いっぱい的人数で、1クラスになるのであれば、別々で2クラスでいる方が、子供たちにとってもいいと思うし、それが想定できないって言ったらおかしい。2クラス以上にしたいから統合するというのに、何か、その8教室で、もし2学級になれば中学校を使うというような考えが疑問である。

大 橋 室 長 当初、本納中の教室を使って教室数を増やさずに入れることが可能かどうかの検討をした。その中で、それでは教室数が足りない。その足りない部分を、新しい校舎を建てるという方向性になった。この新しい校舎は、本納小学校が移転した場合には、小学校の児童が入る形で収まるようになっているので、今は小学校の校舎と考えている。これが3校統合になると、本納中の校舎も含めた全体の中で、小学校を含められるという想定になっている。クラス数が幾つになるかという問題は、27ページで本納ニュータウンを見込んだ児童生徒数を記載してある。令和8年の児童数を、本納小学校から豊岡小学校、本納ニュータウンを見込みで記載をしてある。本納小学校から豊岡小学校までのこの児童数というのは、住民基本台帳を基準に出してある。これは本納ニュータウンの見込みを入れて270という児童数になっている。これが225というのが、本納小学校と新治小、豊岡小を合計した児童数になる。この辺りになると、教室数も適正規模までに至ってないが、複数のクラスを持つような学校になるっていうのは見込める。全部を足しても適正規模にならない可能性はあるが、それに近いクラスという形で維持できると見込んでいる。

住 民 本納ニュータウンの児童数が予想に反して、例えば倍であるとかの場合の対応で、豊岡小学校の統合がまた延期になるとか、そういう可能性はあるのか。

大 橋 室 長 こちらの数270が、最大時の児童数と見込んでいる。実際、教室の中にあとどのくらいの、児童や生徒が入ることができるかとなると、児童生徒合計で217人ぐらいまでを見込んでいる。そこまでは受け入れができるのではないかと見込んでいる。

住 民 本納ニュータウンの児童数が予想に反して多かった場合に、豊岡小学校の統合が延期になるとか、そういう可能性はあるか。

大 橋 室 長 受け入れ可能数、状況が、これを超えるようなニュータウンの児童が見込まれる場合には、その辺はやはり考えなければいけないと思う。

住 民 本納中に、小学校3校、新治・本納・豊岡が行くことについては、本納の中学校の周りは、水害で大変だということ、皆さん十分ご存知だと思う。そういう中で、本納中に本納小、新治小、豊岡小の父兄の方々は、本当にあそこの場所がいいと言っているのか。それについて聞きたい。先ほど、水害の

中で本当にあの場所でいいのかどうかっていうこと言われたようだが、そう
いった父兄とか、関係機関の方は、その地域の方々から、本納中の場所がい
ちばん最適だと言われているのか。それについて聞きたい。

佐久間次長 水害に対しましてはご心配されているご父兄の方ももちろんいらっしゃる。
過去の水害の調査等もした中で、校舎の中までは、実際入ってきていないと
いうことは捉えている。本納小の今建築中のところについても、高さは本納
中と同じぐらいの高さにしてある。また、避難誘導の仕方や、災害警報が発
令された際に、子供たちの登下校を制限するような形で対応できるものと思
えている。

住 民 わざわざ水害がすごい場所に行く気があるのか。父兄の方々は。
中 村 部 長 今回の説明会、新治・本納・豊岡と説明させていただいた中で、水害の心
配をする声は確かにある。先ほどの説明したとおり、中学校と線路の間の道
路等については非常に低いので、大雨が降ると浸かってしまうという実情が
ある。一昨年の水害では、それ以外に、北側の線路付近の道路、そして敷地
の一部が確かに浸かった。それについては、スクールバスで送迎すること
と、学校の方でもきちっとした対応することで、子供の安全を守っていくと
考えている。抜本的な解決は河川の改修、赤目川そして乗川の改修をやった
中で、進めていくということになる。それが完了しなければ抜本的な解決に
はならないが、できるだけ早期に県に改修するように、また市も、乗川の改
修を早くできるように進めていく。

住 民 本納中学校に新校舎も建てて、子供たちも多くなって、グラウンドが1個
しかなくて、小学生も体育の授業があって、中学生も体育の授業があって、
かぶったとき、そういうときに、本納小学校のグラウンドを使うという話を
聞いたことがある。本納小は崖があって危ないのに、わざわざそういうグラ
ウンドに移動するとか、そういうことが本当なのか。

金 澤 課 長 中学生も小学生も体育の授業を当然やるわけである。グラウンドと体育館
と、大きな活動場所はあと柔剣道場もあるので、そういった大きい三つの場
所を中学校と小学校で、学習内容を考えながら、割り振りをしていき、必ず
小学生も中学生もグラウンドや体育館を使えるようになるようにローテーシ
ョンを考えている。部活動についても、一緒になってどうなるのだとよく質
問が出るが、部活動をやらない日が、小学校も中学校もある。部活動をや
らない日は、小学生がやらない日は中学生が全部使え、逆の場合もある。ま
た、小学生と中学生は下校時刻が違うので、小学生が帰った後に、中学生が
全面を使うという使い分けをする、或いは一緒なる場合には、合同練習をす
ることも可能である。そのような中で、譲り合いながら、割り振りをしなが
ら、一緒に仲良く使っていくというようなことを考えている。本納小学校の
グラウンドを使うという話をされたが、本納小グラウンドについては今のと
ころ、どのように使うかについては未定である。この後、有効な活用につい
て考えていく。今の時点では授業で本納小の今のグラウンドを使う予定はな

い。

住 民 授業で使うことはない。でも、部活では使うことはあるのか。
金澤 課長 今回の本納小のグラウンドについて、この後どのように使っていくかは、今の段階で全く未定である。授業とか部活動で使うという予定は決めていない。

住 民 私も本納中学校に通っていたので、何となくわかるが、プールとかは全くない。プールの場所に遊具の整備をするということは、プールは敷地内に作らないで、どこかへ行ったりするのか。

金澤 課長 今年度はプールがなくなりそこに遊具ができる。プールがなくなるので、本納小本納中は民間に委託をして、茂原のスポーツクラブに迎えに来てもらい、バスで行って授業をしてまた戻ってくることを計画している。通常のプールですと、たまに寒くて授業できないことがあるが、室内のプールになるので、天候の影響を受けることもなく、指導員の方も教えてくれるので、専門的な指導も受けられる。

住 民 本納小の崖問題に関して、本納小からの要望書、請願書が出ました。それに対しての移転問題だったはずですが、それがなぜ統合と一緒になくなってしまっているのか。その説明会がそれぞれ地域の方、保護者の方たちにあったのか。あ のとき、ちょうど10月25日の大雨のときも重なり、説明会は確かに実施されたりしていたとは思いますが、参加できる状況ではなかったのです皆さん。それを市の方たちはわかっているのか。その説明会に出てないから皆さん賛成だととられているとするならば、それはちょっと違うと。私の方から伝えたい部分である。学校は、地域、保護者、学校と三角のトライアングル状態で連携取れて、成り立っているものだと思う。けれども、ここ最近、統廃合だ、移転だっていうので、本当にバラバラな状態になって、保護者の皆さんも、生徒の皆さんも本当に混乱している状態が現状である。多分説明会、意見交換会自体が本当に少ないと思う。全国でもいろいろこういう問題が行われているが、もっと数多くやっていると。もっともっと数をふやして欲しい。もっと地域の皆さんの意見、子供たちの意見をもっと聞いて取り入れて欲しい。そうしなければ、いい学校作りというのはまずできないと思う。子供たちの学校、子供たちのための学校を作りたい。ということで、統廃合という話ならば尚更、子供たちの意見、地域の皆さんの意見、もっと聞いていただきたい。あと、土曜日の説明のときのグリーンベルトの件で質問して、その歩道のないところにグリーンベルトを作るっていうのが本来のグリーンベルトの意味だ。それを校内につくる。通学路の危ない箇所、本当にいっぱいある。学校の先生たちもパトロールをしながら確認をしてくださっていますし、保護者の皆さんもこういうところが危ないよっていうのは学校のほうには伝えているのですけれども、もっと調べていただきたい。それから、28ページで、グリーンベルトが北門の駐車場から伸びているが、北門からも生徒を入れるのか。グラウンドや体育館を合同で使うという話だった

が、バスケとかサッカーなんかは、規格が違う。そこに関してはどうされるのか。

金澤課長 子供たちの登下校について、基本的には今の正門のところを使う予定になる。北門の方は、保護者の方が送ってきて、そこで子供を降ろした場合に、わざわざ外を回って正門から入りなさいという指導ではなく、その場合には体育館の前を通過しての登校ということにもなってくると思うので、その辺は臨機応変になる。スポーツの規格が違う。サッカーゴールの大きさも違うしバスケの高さも違うので、小学生なら小学生の広さで、高さということで対応する。

大橋室長 駐車場のところから伸びているグリーンベルト、これについては今、学校の方で通学路の調整をしている。バスケボールの関係は、高さが調整できるバスケゴールを設置して、中学生でも小学生でも対応できるような形を考えている。統合の関係では、第一次実施計画の中で、3校統合する方針が位置付けられた。第二次実施計画の中で、その統合の時期をいつにするかというのを決める計画となっていた。そのような中で、本納中の中に新たな校舎を建設して、3校で利用する統合後の校舎というような流れになっている。

住民 本納小の方のご意見だが、実際その建てられた建物を見て、こんなに小さいなんて聞いてなかったとか、ここに立つなんて聞いていなかったっていう声がすごく多く私のところにあった。それってご存知か。

大橋室長 本納小のPTAから提出がありました要望書の中では、本納中学校の余剰教室を利用することと、校舎を建てるということが記載されていて、その内容に近い形の建設となっている。

中村部長 保護者が、校舎が小さいということで、聞いていないというお話ですけれども、PTAから出た要望書の中には、本納中の中への移転という内容が記載されていた。その時点で、具体的にどういう校舎を造ることまでは決まっておりましたので、その余剰教室を使うことで新しい足りない分は校舎を建てるというのは要望書に沿って、そのようにした。確かに今建てている建物だけを見ると、小さいというふうにお感じになるかもしれないが、あそこだけが小学校ということではなくて、その新しい建物、そして特別教室棟また体育館グラウンドを含めて、本納小という考え方である。8月10日に、この校舎が完成して引き渡しになる予定になっているので、その後に内覧会を予定している。今日も現地を確認してきたが、非常に廊下も広くて、思っていたよりも、快適に使えると考えているので、まず、ご覧になっていただいて、その上でまたご感想等、ご要望等があればお聞かせいただければと思う。

住民 本納小の方たちには、もっと説明会を開いてあげたほうがよかったのではないかなとすごく感じる。これが自分の豊岡小学校の立場だとしたら、自分はそう思う。保護者の皆さんたちにしてみれば、学校に生徒を預ける。そう

いう面で、安全安心を求めるのは当然なこと。ハード面ソフト面に関して、何か難しい言葉で簡潔にプリントにされて、それで終わりというものではない。とにかく説明が少ない、すごくそこが強く思っている。もう一つ土曜日の質問でシューターの話で、地図上では、どう見ても狭いという話で、それで終わってしまったけれども、非常階段がない。階段から逃げるしかない。もし階段から逃げられない場合にシューターを使う話だったが、地図上で見る限り、どこにシューターが降りるのか。そしてそれは全員降りるのに、絶対時間がかかる問題だと思う。命に関わる問題である。今までの説明会でも、後づけで今考えていますっていう答えだったが、本来、学校建設の時点で、考えなければいけない問題だと思う。

中村部長 説明会が不足しているという点について、丁寧に、何回もご説明をしなければいけなかったという点については反省をしている。本納小に関しても移転日が9月に控えているが、今後も丁寧に説明をしていきたいと考えている。また豊岡小に関しても、今回は案として説明をさせていただいているので、これで終わりということではなく、今後も、地元の方たちと、また保護者の方たちと丁寧に説明会をやっていくと考えている。シューターの降りる位置は、基本的には二階と、三階につけるという予定で今考えている。先日、南側というお話をして、今日も現地を確認してきたが、具体的にどの位置かは、まだ決定しているわけではない。それからその安全性も考慮した中で、一番どこに降りるのがいいのかは、また、詳細を詰めましたらお知らせする。

住民 シューターですと、避難するのに時間もかかると思う。本来であれば、側につける非常階段を設けなくて、なぜシューターをつけるのか。

大橋室長 建築基準法では5階以下の場合については、床面積（居室部分・階毎）が200平米をいかなければ、階段が一つでいい。両側から降りられるような階段のフロアもあるが、今回の床面積であれば、階段は一つでいいという形になっている。消防法の関係の方で、シューターを本来3階につけるのみでいいが、あえて2階にもつけている。

住民 安全ということで、まず中に階段が一つある。それとエレベーターっていう話をちょっと聞いている。外階段の、双方向の避難経路っていうのがあると思うが、現在の中でこのクリアランスの中に、実際設置することが可能なかどうかは、議論されたか。例えば南側ですとまず不可能。体育館と新校舎の間になったときに、可能なスペースがあるのかどうか。どのくらいの規模の災害がくるか分からないので、そういう中で、やはり安全安心が最優先にならなければいけないので、付けていただきたい。それができないという理由があるのであれば、逆に言ってほしい。基準法とかの話があったが、安全をやっぱり考えなきゃいけない。予算はどうかのって話は別だと思う。そういう中で、是非とも検討いただきたい。

大橋室長 どういった理由で設置ができなかったか確認する。

住 民 9月に本納小が入ってくる。中学生たちにはもう周知はしているか。中学生たちが、本納小学校を迎える体制が気持ちの面で出来ているのかどうかが見えてこないのか、その辺は、中学校でもちゃんと説明はしているか。

金澤課長 令和2年8月に本納中学校の生徒に向けて、本納中学校の先生方から、本納小学校は令和3年の9月に移転をしていくという話をした。そして、子供たちからは、その移転についてどう思いますかということで、アンケートをとって子供たちの考え意見等も集約をしてある。移転に反対をする意見もあったし、移転に賛成する意見もあった。反対の方の数が多かったというのが正直なところだが、反対の数が多い主な理由としては、工事の音がうるさくて勉強に集中できないとか、小学生が騒ぐことによって授業に集中できなくなるということがあった。この子供たちの声を聞いて、工事業者にも、子供たちの授業中の大きい音であるとかについては極力気をつけて欲しいということで話をした。子供たちの声を聞いて、ある程度、こちらの方で対応できることについては対応してある。今後についても、実際に9月に本納小が移転してくるので、中学校の先生方から、中学生にもきちんと説明をしながら、準備を進めていきたい。逆に意見では、みんなで一緒にやれることが楽しくなるのではないかと、早く一緒にいろんな活動をやりたいという意見もあった。

住 民 子供たちが納得すればいいが、ある程度自我が目覚めてくると、体育館は自分たちがバスケットをやるのに、何で小学生にわざわざ渡さなきゃいけないのかみたいなのが出てくるのかなっていうのがあるので、その辺のメンタルのケアもちょっとしっかり、考えてほしい。

茂原市学校再編に関する住民意見交換会 議事録

【新治小学校】

- 日 時：令和3年5月15日（土）10：00～12：00
- 場 所：新治小体育館
- 参加者：50名
 - ・ 審議会委員 2名
 - ・ 事務局 17名

教育長	内田 達也
教育部長	中村 一之
教育部次長（教育総務課長）	佐久間 尉介
学校教育課長	金澤 勤
学校教育課主幹	伊藤 信博
学校教育課主幹	宮内 智之
教育総務課長補佐	小安 宏尚
教育総務課学校再編推進室長	大橋 康博
教育総務課総務係長	吉野 司
教育総務課学校再編推進室主査	石田 卓也
教育総務課学校再編推進室主事	紺野 晃弘
教育総務課学校再編推進室	深山 秀樹
教育総務課学校再編推進室	狩野 久志
防災対策課長	小久保 堅
企画財政部次長（企画政策課長）	木島 成浩
土木建設課長補佐	細谷 明弘
土木管理課長補佐	鈴木 久幸

- 1 開 会
- 2 教育長あいさつ
- 3 茂原市の学校再編について 事務局にて資料に基づいて説明
- 4 意見交換

(以下意見交換)

* 「なぜ小規模特認校を実施しなかったのか」という意見について

金澤 課長 小規模特認校を実施しなかった理由は、茂原市が学校の適正規模、それを定めて統廃合の検討を始めた段階においては、市内には8つの学校はすでに適正規模を満たしていないという状況にあった。そうした中で、特定の学校だけを小規模特認校を採用するのではなくて、茂原市全体の小規模校対策をしていくという方針になっていた。茂原市のそういう状況の中で特認校等を実施していけば、さらに小規模化が進んでしまう、という懸念もあった。

住 民 まず1点目は、今日の意見交換会はもともとコロナで延期したはずである。今、日本中が変異株の拡大とかでこれまで以上に大変なことになっている。市

内でもつい最近クラスターが発生したとか聞いているが、にもかかわらず今の開催を強行に至ったのはなぜか。

質問の2点目は、新治小の跡地利用をどのように考えているのか。資料の32ページに、跡地利用の流れが少し書いてあるのを見ると、これを例にして書いてあるだけで、地元の意見を聞く場面とか全くないように感じた。だからといって、小学校の統合に賛成の立場ではないが、少子化で児童数が減少し続けているのは紛れもない事実だ。児童の親御さんからすれば、少人数のメリットはあるにせよ、一定の人数の中で揉まれないと競争性や社会性が育ちにくい、という心配があるのもわかる。小学校の跡地利用というのは非常に大事だ。これも並行して十分検討していただきたい。

最後の質問の3点目は、新治小の児童が通学する足として、バス通学が検討されていると思うが、バス通学のメリットやデメリットについて、他校の事例なども参考に伺いたい。あわせて児童への影響、特に歩く機会が減ることによる体力面の低下についての配慮などあるのか。或いは安全性を担保する乗降場所の工夫、監視員の設置、運行するバスの台数、例えば大型1台で全員拾っていくのか、或いは小型数台を効率よく運行させるのか。そういった内容とかそれに伴う運行経費など、具体的な検討の成果があれば示してほしい。

大橋室長 現在進めている学校再編は、子供たちの教育環境の向上を図るということを目的にやっているもので、大変大切なものだと認識している。

前回の説明会の時には緊急事態宣言が発令されており、その中で実施するということは大変難しい、人を集めるということは難しいと考えたのが中止の理由である。現在は緊急事態宣言は発令されていないため、対策を十分取りながら実施する方針をとった。

中村部長 新治小の跡地利用について、まず利用の基本的な考え方に、新治小は地域の避難所に指定されているということで、避難所としての機能は残す。万が一、何かあった場合に体育館や校舎が使えるような形の契約にするということを考えている。また小中学校については売却するのではなくて、賃貸、貸付けの業者を選定しようというふうに考えている。

まず、選定する過程において市内の需要の調査や民間からの提案、また自治会からご要望等があればお寄せいただきたい。具体的にどういう使い方になるかはまだ決まっていない。できるだけこの地域に合い、皆さんが受入れられるような施設でまた活性化できるような施設、地域にとって有益な施設になるようなことで検討を進めていきたい。

金澤課長 少人数指導等のことについて、ある程度一定の人数の中に子供たちがいると、多様な考え方に触れたり、或いはグループでの活発な意見交換をすることでできたり、今の班の意見に、「僕たちの班は反対です」とか「賛成です」とか、「こういう理由からです」とか、様々な学習ができる。

新治小学校の場合には、平成の25年度から複式学級が始まっている。複式学級については一般的にケースが少ないが、子供の少ない二つの学年が一緒にな

り、一つの学級を作って生活や学習をする。学級が一つなので担任の先生は1人である、という特徴がある。令和3年度は3年生と4年生が複式学級を組んでいるが、二学年の子供たちが一つの教室で、一緒に一つのクラスを作るということで、担任の先生は1人ということになっている。逆に3年生と4年生一緒に生活しているので、一緒になると12人になり、ある程度人数が増えた学習もできている。また、逆に課題もあり、1人の先生しかいないので、1人の先生が2つの学年の学習内容を教えるということはまず無理である。その対応策としては、国語・算数・理科・社会の4教科と一部の教科については、もう1人先生が必要であるという判断のもとに茂原市では1人講師を付け、必要に応じて3年生4年生を分けた学習指導を実施している。ただ、その4教科は、自分の学年の人数に戻ってしまう。グループ学習などは進まない。

それから、令和3年度一つの複式学級があると言ったが、新治小学校は本来二つの複式学級ができる規模で、複式学級が二つもあってはいけけないので、教務主任が替わって指導にあたっている。

佐久間次長 スクールバスについては、先に統合した二宮小学校の例では、大型バス1台で年間700万円を令和3年度に予算計上している。メリット・デメリットについては、まず安全に子供たちを学校まで送り届けることができる。雨が降っても、そういったことに関係なく送り迎えができること。デメリットとしては、おそらく体力の低下を心配されるご父兄の方もいらっしゃると思うが、学校で基礎体力が低下することは避けたいと、体育の授業等で体を動かす時間を増やしたり学校教育全体を通して体力づくりの活動を充実させたりしていくことを考えている。

金澤課長 下校時のバス運行については、他の学校の例では帰りの放課後の時間帯については3便の運行をしている。通常に帰る低学年用のバス、高学年用のバスが2便目で、最終便が部活動をやっていた子供たちのバスということで、ある程度、子供たちの生活に応じてバスが運行できるような計画で運行している。

住民 1点目の意見交換会の開催時期について、地元の忌憚のない意見をより多くの方から聞きたいと言うのなら、せめてお年寄りのワクチン接種が一段落して、関心のある方が誰でも安心して出席できる時期になるまで、延期してもよかったのではないかと思う。これまで学校再編審議会の答申、或いは第二次実施計画を策定するための必要なアライづくりの力づくでの開催としか思えない。かえって、出席者が少なくても良いのだという執行部の意図が透けて見えるような気がする。審議会の答申時期や計画の策定期も、一層延期して地元の理解が得られるまで、より丁寧に進めてほしい。

2点目の跡地利用の件、思ったとおり検討は全く進んでないような印象である。これまで新治小を中心に周りに郵便局や派出所、コンビニなどがあって、一定の賑わいがあると思うが、いざ廃校になっても避難所ぐらいの役目しかなくなったら、これまでのにぎわいが維持できるのかを非常に心配する。廃校の状態が長く続けば、こうした周辺の施設の撤退なども懸念される。だから、

拠点施設としての跡地の活用について、地元も巻き込んで早急に考えてもらいたい。

3点目のバス通学の件、答弁を聞くと二宮の1台で700万円なんて、それこそ大沢の隅から桂の端っこまで1台でポツリポツリ何時間かけて乗車させるのかと思うと本当に心配だ。もっと効率よくできないものか、そういったことも含めて見切り発車っていう形にならないようお願いしたい。

こういったところ具体的などころが、親御さんにとっても一番の関心事だと思うので、親御さんの意見を十分に反映しながら速やかに検討を進めてもらいたい。統合に前のめりな進め方には、現時点では賛成しかねる。

住 民 私の思いとしては6年生の子供が生まれたときに、新治小の人数を知ってとても不安になり、何度も市長にお手紙を書いたり教育委員会にも行かせていただいたりした。ようやくここまできて、上の子が5年生になる頃に本当は再編する予定だったのが、ちょっと話が変わってしまって今に至っている。下の子が1年生になってから卒業までは、本当にあつという間だと思う。コロナでとても大変なのはわかるが、こういった話し合いを続けて早期に統合を進めていただきたい。

二宮にお友達がいるが、統合まではとても不安で「嫌だ、嫌だ」と言っていたが、今年6年生になって統合してスクールバスもギリギリ乗れない場所で、歩くのも通うのも大変らしい。けれども、うちの1年生みたいに学校に行くのが毎日楽しいそう。友達が増えて「休みいらない」と言うぐらい楽しいそう。できれば6年生の子供にもそうなってほしかったという思いだが、それはもう難しいので、せめてこれからの子供たちにそうなってほしいと願っている。私も新治小が好きで、できればここでたくさんの友達と通わせてあげたかったが、難しい現状なので、これからは統合に向けてどうしたら子供たちがより安全に楽しく、学校生活を送れるかということをお考えで考えていただければと思っている。早期の統合をお願いします。

住 民 湧出ガス調査の件で、ガス名がメタンガスということになると、資料の調査結果のイ（【参考資料】1（2）調査結果）に、階段下倉庫、配膳室、保健室、コンピューター室、電気室、体育館外のトイレから0.003%から0.007%の低い濃度湧出ガスが検出された、とあるけれども、メタンガスの一般的に危険な濃度と言われるのは5%から15%、要は5万ppmから15万ppmってことになる。これは爆発だけが危険ではなく、子供たちの人体のメタンの許容濃度や作業環境濃度は、塩素ガスだと5ppm以下とある。メタンは何ppmか。

大橋室長 メタンガスは無臭無害と聞いている。

住 民 無臭で無害ではなくて検出され、30ppmから70ppmのガスが検出されたと書いてある。子供たちが吸引したときの慢性毒性だとかそういう種類の検査する予定はあるか。爆発だけが危険ではないと思う。わずかな濃度のメタンを吸い込んでいたらどうなるか、要は慢性毒性みたいなことを市としてはきちんと検証すべきだと思う。

それからメタンについては腐食性もあるガスなので、電気室やコンピュータ一室などの機械類に対する腐食性は検証する予定はないのか。見えないガスだが、銅などはあつという間に腐食していく。そういう危険性への対策はどう考えているのか。

一般的にこういう冊子には、本当はメタンガス何ppm、%とppmと併記する。0.00何%と書いてあると非常に低いように一般の方は思う。塩素ガスなどでは30から70ppmだったらその場に居られない。粘膜障害なども出てくるので、特に子供たちが吸い込んだときの肺の障害だとか、慢性的にどういうふうな影響が出るかは、市はきちんと検証すべきだ。

大橋室長 今後、専門業者ともう一度よく確認する。自治会回覧等を通じて「ガスがどういったものなのか、こういう対策をとる」という回答を示す。

住 民 排気装置の停電の場合の非常電源装置、それから各機器についてガスが滞留するような場所での防爆型のスイッチや機器を検討したことがあるか、と11日に質問をしたが、その時は答えがなかった。

大橋室長 湧出ガスについては調査会社の考え方として、「湧出ガスの濃度は高くない」ということで、自然排気が良いとある。ガス警報器を設け警報が鳴ったら窓をあける対策で十分であるとなっている。したがって、停電時であっても、自然排気が常にできるような状態を位置付けるような形をとった。

住 民 ガス検知器は職員室で総合的に見られるようなタイプではないと説明があった。定量のガスが出た場合に光るとか濃度が高くなると警報音を発するとか言っていたが、各教室の天井裏か何かに設置するものなのか。天井裏に設置すると、光ったり音が鳴ったりしたら点検口を開けて中を見に行くのか。

大橋室長 ガスは軽いので教室であればその上の方に上がっていく形になる。上の方に上がったガスが教室に溜まっているかどうかを検査するために警報器を設置しているの、天井より下の位置に警報器を設置する。そこで色が点滅したり警報音が鳴ったりとかお知らせをする。天井裏については自然排気をするような仕組みをしてあるので、それによってガスが排出されていくという形となる。

住 民 ガスが天井裏に溜まるのに天井裏の点検をどうするのか。自然排気だけか。
中村部長 天井裏についてもガスが溜まらないように、通気孔全部設けてある。それは教室も同じで、いろんな倉庫についても全部自然換気ができるという状態を施工時に施工して、溜まるおそれはない。全部通気孔を設けて、自然にそれが出るような仕組みを取り入れているということになる。

住 民 昨年、この学校統合問題についてはテレビで2回放映されている。8月2日にTBSの「噂の東京マガジン」。8月の27日にフジテレビの「特ダネ」。見た方も大勢いると思うが、市ではあそこは水害で水没するようなどころではないと言っているが、両方の映像に女子中学生が腰まで水に浸かってグラウンドを歩いている映像が映っている。あれで水害の避難場所になっている。誰もがおかしいと思った。

それからこの放映の時に、学校建設の専門家の東洋大学の教授が『住民同士

を対立させるような、そういう行政のやり方は絶対に駄目』だと言っている。昨年8月の本納中学校の体育館での説明会では、賛成派と反対派が怒鳴り合っていた。あれは市のやり方が間違っただけという以外に何でもない。そして、教授はこうだという結果だけ伝えて、行政が進めることは絶対に今はやってはいけないことだと言っている。市は、我々の意見を何も聞いてくれない。市が決定したことをどんどんどんどん進めているだけだ。これも教授に言わせると、全く駄目なやり方だ。学校建設は信頼のもとで、みんなの意見が反映されて「学校は自分たちで生み出したものだ」という気持ちを持たせることが、行政の仕事だと言っている。

中村部長 この意見交換会については、今回と前回夜間にやらせていただいた。皆さん方から多様な意見をいただいていることは十分承知をしている。我々もこのままで進めて良いのか、ということも当然考えている。この意見交換会が終わった後に、まだ素案ではあるが、例えば自治会の方々、また保護者の方々、少し少人数でどういう議論をして良いのか、そこからやっていきたいという考え方も持っている。まだ、自治会の皆さんにもPTAの皆さんにもお話をしていないが、まずそこからスタートをして、地域の問題は何なのかとか我々の考え方を押し付けるとかではなく、皆さんからの意見をそこで吸い上げていきたい。そういうことを何回か重ねた上で、地域ごとやもう少し小さい単位で意見をいただく機会を設けていこうと話合っている。

住民 3校が統合することは別に反対ではないけれども、なぜあの場所に校舎を建てるのか、ということだ。今までだって水害や騒音、また新たにガスの問題が出てきている。そういうところは避けるべきではないか。

11日の時に、騒音に関する質問で、二重サッシを付ければ大丈夫だという答えで、そういう二重サッシを付けなくても良いような場所に校舎を建ててもらいたかった。

その時に、他には候補地はなかったのかということを知りたいが、どこを調査して候補地を選んだのかを教えてください。

それから、中学生にアンケートを採って、反対者数が賛成者数の2倍以上という、主体者である中学生の意見も無視して工事を進めるってことは、ちょっと理解できない。当局の意見を聞きたい。

佐久間次長 候補地としては、本納中学校の敷地以外に本納駅の周辺、本納のバイパス付近、それから本納駅の東地区の計画区域内等で検討をさせていただいた。新たな土地は学校であるので、ある程度の面積が必要になってくるので、なかなか土地を求めるのが厳しかったということ、それから土砂災害の警戒区域に本納小が指定されるということを受けて、本納小のPTAからも移転を求める要望書の提出もあった。ただ、それが全てということではなく、本市の計画方針とも合致していたことから、早急に動いた方が良いだろうということで判断をしたところである。

住民 調べたということは誰が調べたのか。市が調べたのか。普通、専門の調査す

る業者が調査すると思う。市の職員ではなく、そういう業者ではないのか。

佐久間次長 前任の者から内部（市）の方で検討した、と聞いている。

建設が確定すればその次の段階で業者という形になるが、まずは候補地を選ばなければいけない、ということで当時の担当がいろいろ探していたと思う。

住 民 中学生のアンケートも、反対者数が賛成の2倍以上ということで、結果を無視して工事を進めるということが理解できない。

金澤課長 中学生のアンケートについて、反対的な意見が（賛成的の意見の）2倍ぐらいの数ではないかとあったが、私どもの手元の資料では、賛成的な考えの生徒が46名、反対的な考えの生徒が63名、それから両方の意見を書いた子は16名と、取りまとめをしてある。ただ内容からは、例えば小学生が騒いで事業に集中できなくなりそうという不安を書いたのは25とカウントしているので、トータルの数字は反対的な数が多いけれども一つの意見にたくさん的人数が入っている。「テストに集中できなくなりそう」とか「工事の音がうるさくて勉強集中できないのではないか」という意見が13名いた。そういった意見については極力その授業に差し障りがないような音の工事をしてもらうように工事業者の方をお願いをした。子供たちの意見に耳を傾けながら進めていけば、この辺はクリアできると判断をしている。

それ以外の意見についても、子供の立場からいろいろな意見を出しているの
で、吸い上げてできると思うものについては、今後も検討して進めたい。

住 民 今回の新治小と本納小の統合については全面的に反対である。そして、新治小存続のため小規模特認校の申請を切望する。

そもそも現在の学校再編審議会は何ら地元の意見を十分に把握せず、それに基づく審議が行われていない状況である。教育委員会の目的意向に従って審議を進めているだけである。議事録を一読すれば明白である。

これが無視された場合は、地元の再編反対の署名活動に入る。

教 育 長 まず小規模特認校というのは学区制。茂原市も学区制をとっていて、このところに住んでいる住所の方はこの学校というのが決まっている。小規模特認校はその学区を取り払って、茂原市どこからでも通ってきて良いという制度をとり、子供たちをもっと増やして残していくようにしようというのが小規模特認校である。ところが、茂原市は周りの学校もほとんどの学校が小規模化している。35年前約1万2000人だった児童生徒が今約6000人弱ということで半分に減ってきている。今後もそういう減少傾向がある。そういう状況の中で、学区を取り払ってどこからでも通ってきて良いというやり方で、学校の子供たちの人数を増やしていくというのは茂原市の状況に合わない。そういうことをやると、周り中が減っている中でまた減ってしまうわけである。したがって、小規模特認校というのは、今の茂原市の子供たちの人数がどんどん減っていく中ではその状況に合わないわけなので、茂原市としては小規模特認校をやっていくという考えがない。

それから学校再編審議会のメンバーについては、条例で定められた中で、そ

れぞれその立場の中からそれぞれ人が選ばれており、皆さん公平な視野の中で審議を進めているので、特にこの時点で再編審議会を解散して新たな方々を選んでやるという考えは持っていない。

住 民 特認校の生徒の人数制限というのがあるのではないかと。だからどんどん極端に減るといった傾向にはならないのではないかと。

教 育 長 人数制限はあったとしても、例えば、栃木県の城山西小学校を参考にする、30数名だった学校が130人とかに増えているということは、100人ぐらいを周りから持ってこなくては行かない。とにかく市全体の子供たちの数が減っていく中である程度の規模で学ばしてやろうということを進めていくには、どう考えても統廃合しないと周りからということであればクリアできないので、茂原市としては小規模特認校は進めないというふうに考えている。

住 民 市原市では特認校は二校あるそうだが、そういったところの研究勉強はされているのか。

教 育 長 そういったところの研究というよりも小規模特認校というのは、学区を取り払って周りからとにかく集めてやっていく学校が小規模特認校であるので、茂原市のように小規模校がいっぱいできてしまう。35年前から児童生徒が半減してきている中で、周りの学校から集めてその学校を増やしていくという小規模特認校という制度は茂原市にはそぐわない。

住 民 現在小学校に通学している娘と未就園の子供がいる。下の子が入学する時に私たちの地区から新治小に通う子は他に誰もいない。1人である程度の距離を通学させることに関しては心配もあるし、当然人数が少ない。分母が少ないとそこから振り分けられる通学に関して、それぞれの地区にいる子たちもかなり少ない人数になる。

昨今の不審者などの情勢を鑑みると、1人や少数で登下校させることに関してはかなり心配もつきまとう。そういった中で、統合してバスで登下校させていただけるとなると、保護者にとっては安心材料という点はかなりある。

統合は上の子が入学する前の段階では、3年生に上がった時の4月に統合すると聞いていたが、延期になっている状況でかなり子供たちも保護者も少し振り回されているかなと思ってしまう。

跡地利用や統合先の中学校の場所に関する不安は、当然他の方の意見でもあったとおりに。延期された理由の中で、地域の方々へもう少しきめ細かく説明する必要がある経緯もあったと思うので、今までと同じような内容の説明会を今までと同じような頻度で開催されるのでは、おそらく現状何も変わらないと思う。

跡地利用だったりその後のことに関しては、都市計画の部門の方だったり、地方創生や防災拠点としての残すつもりなのであれば、その部門の関係者から説明を受け、意見を吸い上げる機会をこういった説明会とは別枠であっても何度か設けて、少し不安材料を取り除くような対応をされた方が理解が得やすいのではないかと。

中村部長　　まだまだ皆さん方への説明が不十分だと考えている。先ほど言ったように自治会の代表者だとか保護者の代表者から少し少人数でいろんな角度から、まずどうやって検討したら良いのかを進めていきたい。その中で、いろんな課題だとか進め方へのご意見だとか吸い上げて、それをさらに別の皆さんと話し合っていくことを考えている。

住　　民　　審議会等の議事録等も見ても意見が反映されていない。やはり「合併ありき統合ありき」が優先されているという見方がなされる。地元の大事な大切な問題で、それぞれの地域にそれぞれの気持ちを強く皆さん持っているので、丁寧な説明と丁寧な意見交換会、この丁寧という言葉が非常に重要だと思う。行政当局もしっかりと住民に周知をして理解を求めて、そして審議会の先生方々も地元のそれぞれの声をしっかりと反映していただきたい。どこの地区でもこの再編の問題は非常に重要だと思うので、やはり自治会長連合会等を通して住民に周知徹底していただき、皆さんの意見を採用上げてほしい。住民と一体となって行政が取り組むべきいちばん大きい課題ではないかと思う。そして、それを継続して何らかの形で伝えていただきたい。

住　　民　　小規模特認校だから小規模である。ここに200人も300人も来るわけではない。「新治小学校は今後こういうことをやっていきたい。」と国に申し入れをし、それが認められて初めて小規模特認校となる。

小規模特認校のことは全く伏せて、私たちに何の情報も提供してくれない。後になってこんなことがあるのかと知るから、何でやってくれないのかという話になる。それを「他の学校から来ると学校が手薄になる」と、そんな言い草はないと思う。宇都宮の例では、1学年20人程度までで最大でも特認学校は120人ぐらいしかいない。何で新治だけ特別扱いできない。

教　育　長　　茂原市は35年前、1万2000人だったが、今6000人弱の子供たちになってきていて、小規模化で減ってきている中で、この再編を始めるとき、第一次実施計画の時も第二次実施計画の時も、保護者の方々からアンケートをとると、大部分の方多くの方が統廃合はやむを得ない、大きいところで学びたいという意見である。やはり適正規模を維持するためには、小規模特認校をいくつかやっていたのでは適正規模までに達しない。

もう一点。現在は、国が小規模特認校を認めるというのではなくて、教育委員会で決められるようになっている。

住　　民　　今日のこういった会議の議事録、会の成り行き、ことの顛末、人が何を言っているか、すべて議事録に出してほしい。関心あるけれど来られない人がいる。その人たちに、ことの成り行きをきちんと教えてほしい。

中村部長　　会議録については、概要をまとめたら自治会回覧をする。また審議会にも提出するし、ホームページについても掲載をする予定であるので、しばらくお時間をいただきたい。

最後に補足で説明させていただくが、学校再編に関する計画を策定する前に、自治会の代表の方々、保護者会のPTAの代表の方々との話し合いをどう

いう協議をしたらいいのか、そこから始めたいと思う。

したがって、場合によっては計画の策定が少し遅れる可能性もある。まずは話し合いを進めてから、地域の話を進めて計画の策定に進めていきたい、という考えである。